

-
- ・当資料は、2024年9月2日に株式会社メイクがウェビナーで使用した資料から抜粋したものです
 - ・ウェビナーを視聴された会社様向けの資料です。それ以外の方へのコピー、配布はご遠慮下さいますようお願いいたします。

【注意事項】

- ・当資料の無断転載、複製を禁じます。



JØTUL SCHOOL 2024

2024.9.2

株式会社メイク

営業二部 ストーブマーケティング課

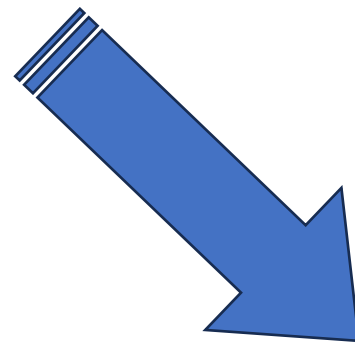


ヨツール F 200 / 400 ECO / 500 ECO 製品ご説明



ヨツール 245

- 根強いクラシックデザインの人気
- 今後は小型、中型クラスが増加傾向
- ヨツールの代表的なクラシックラインの3モデル

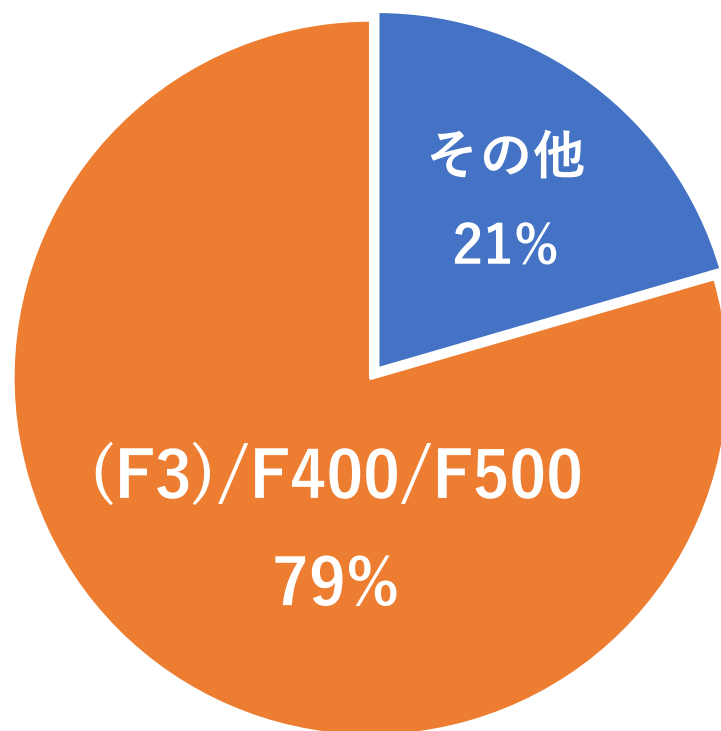


迷ったら245をお勧めください

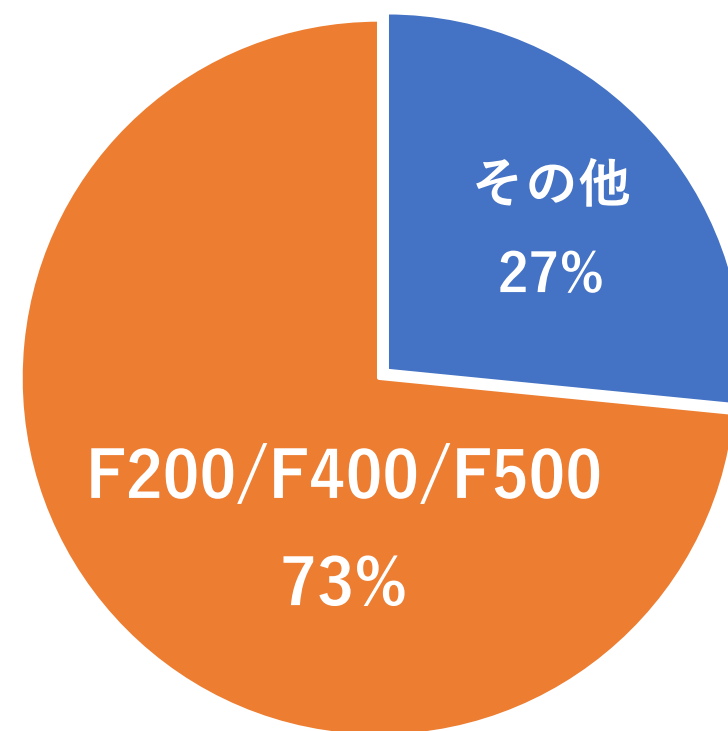


ヨツール 245 : 出荷動向

2013年出荷比率

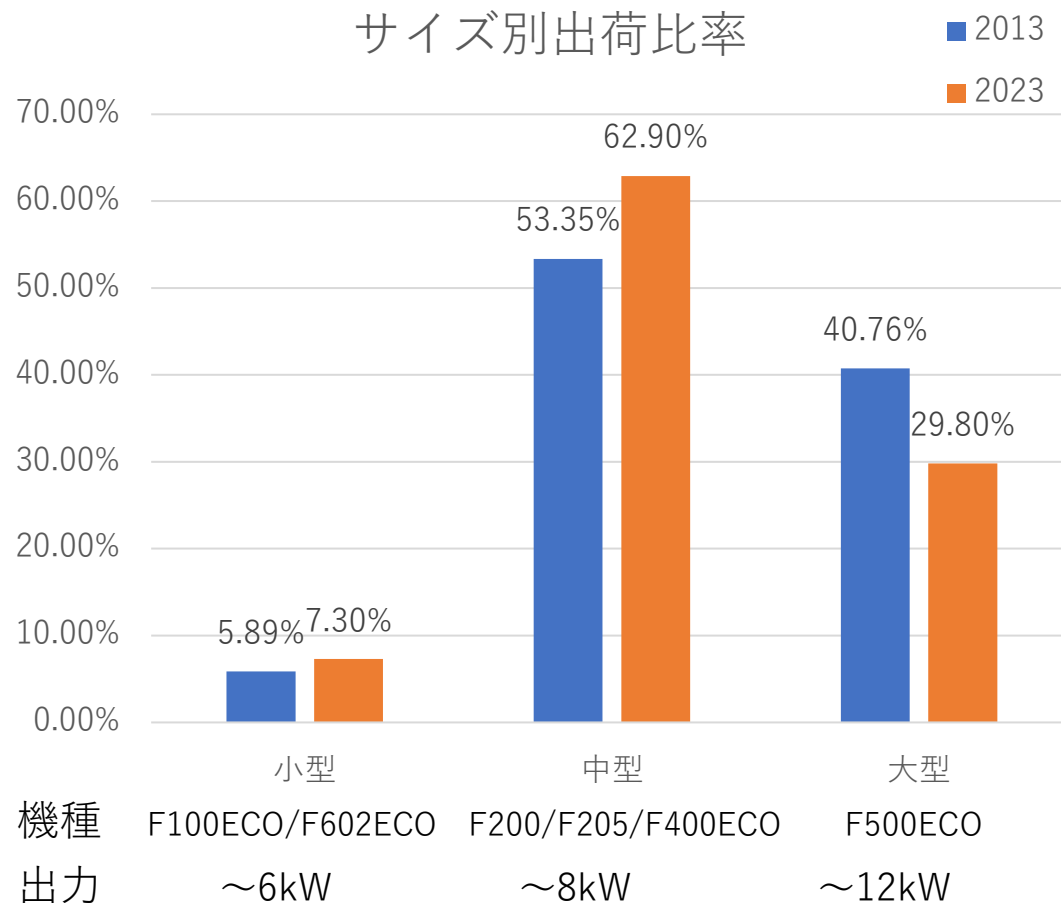


2023年出荷比率

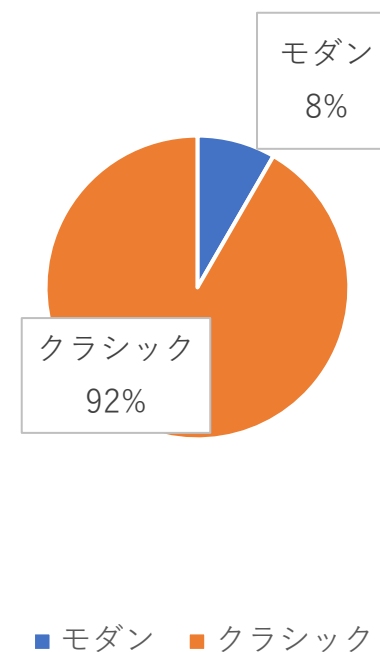


ヨツール 245 ： 出荷動向

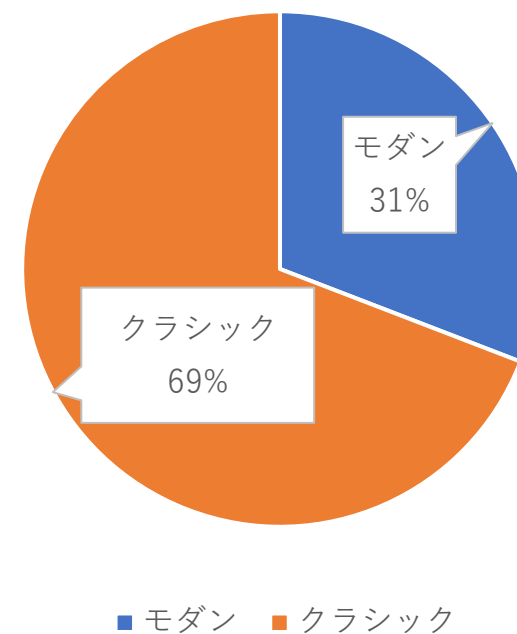
サイズ別出荷比率



2013年タイプ別
出荷比率

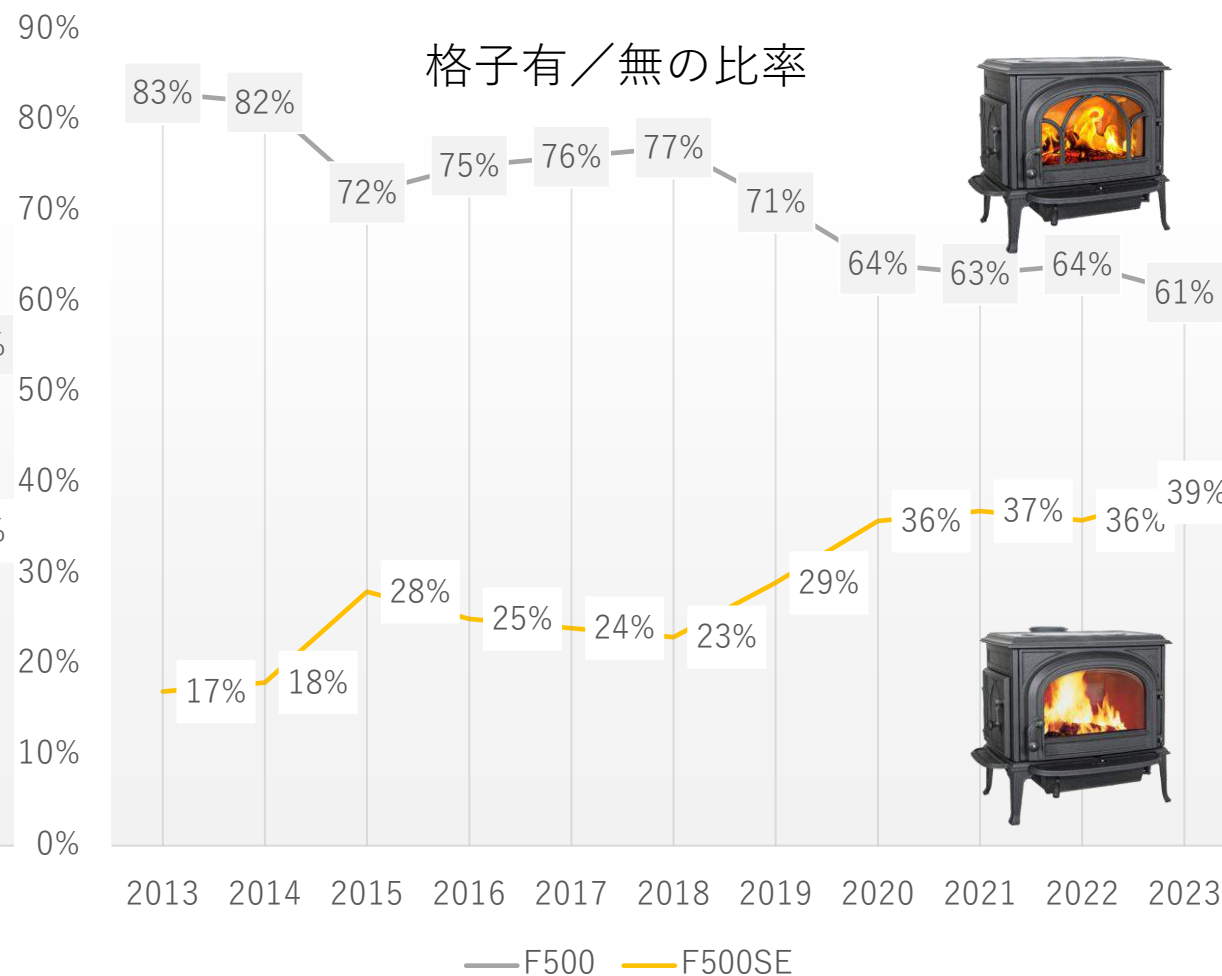
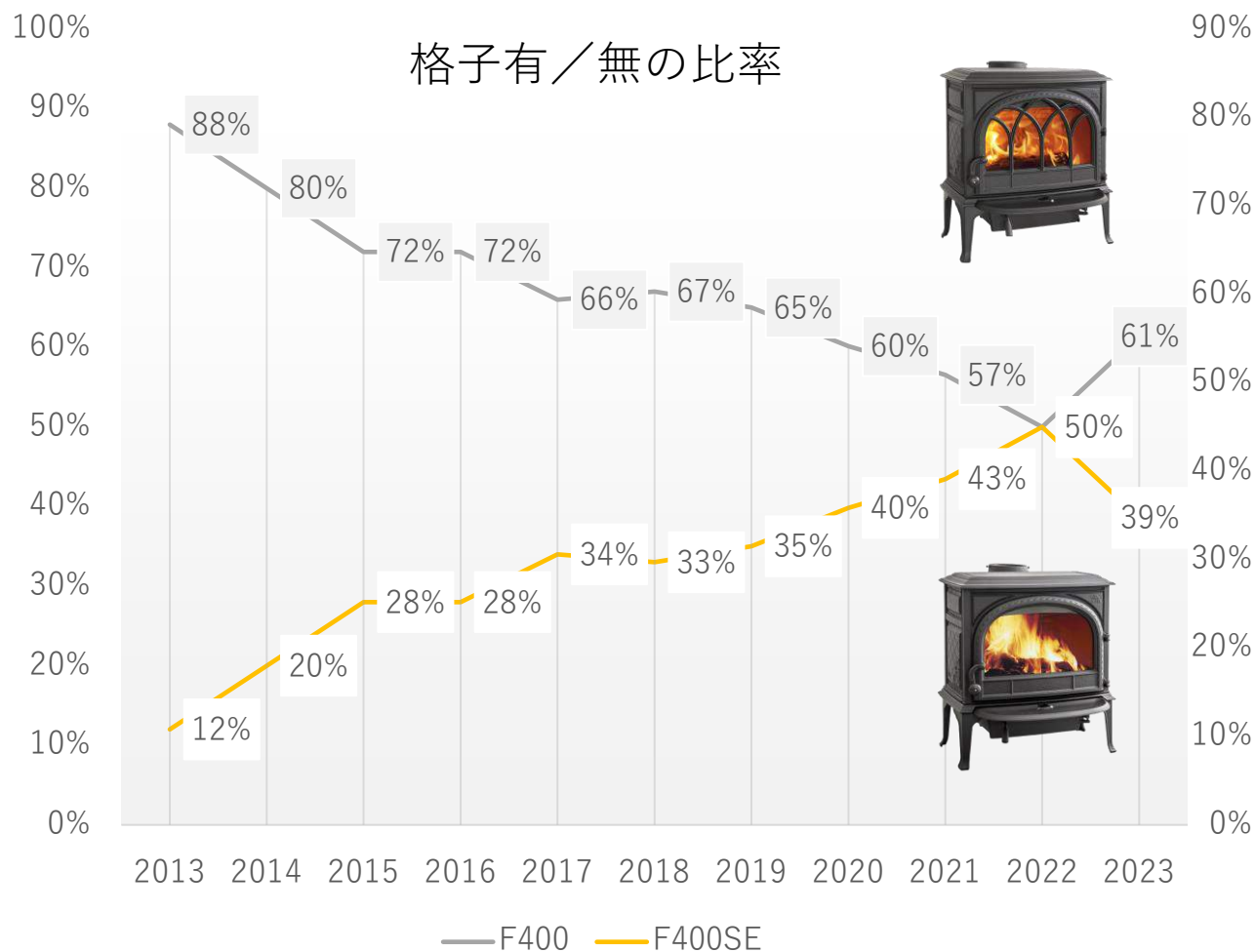


2023年タイプ別
出荷比率



JØTUL SCHOOL 2024.9.2

ヨツール 245 : 出荷動向



JØTUL SCHOOL 2024.9.2

ヨツール 245 : 出荷動向

【F200/F205出荷比率】

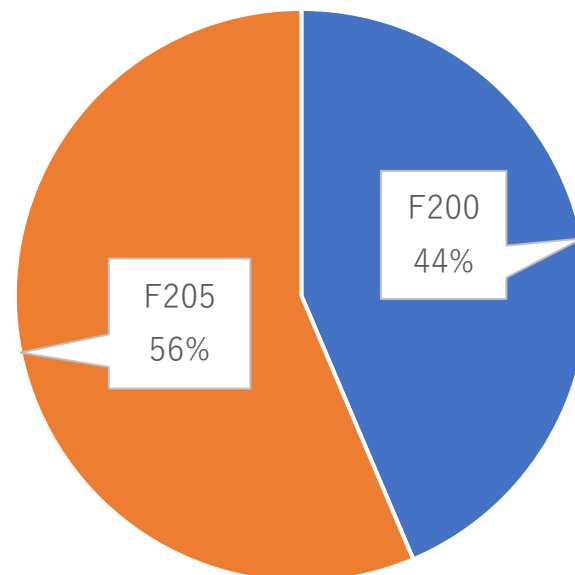


F200



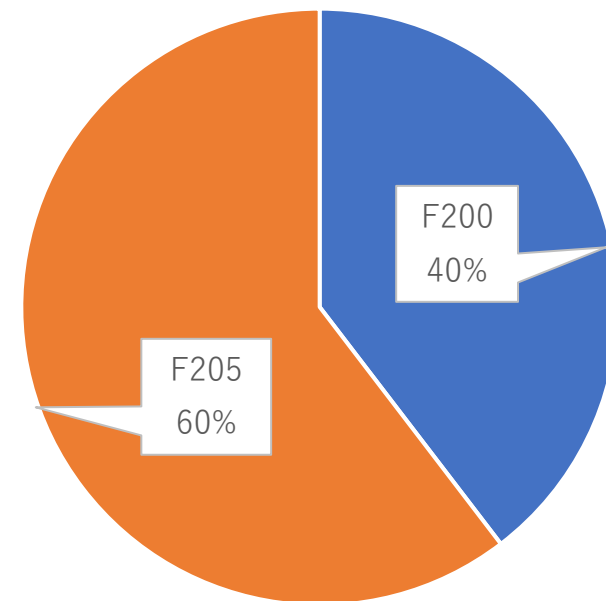
F205

2022



■ F200 ■ F205

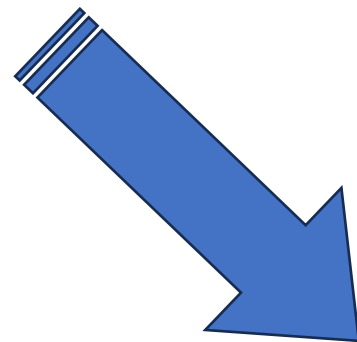
2023



■ F200 ■ F205

ヨツール 245

- 根強いクラシックデザインの人気
- 今後は小型、中型クラスが増加傾向
- ヨツールの代表的なクラシックラインの3モデル



迷ったら245をお勧めください！

ヨツール 245 : エコデザイン

	効率	PM,Dust 微粒子 mg/m3	OGC 未燃炭化水素 mg/m3	CO 一酸化炭素 mg/m3	NOX 窒素酸化物 mg/m3
エコデザイン	75%	40	100	1500	200
Jøtul F 200/205	86%	12	43	596	106
Jøtul F 400 ECO	85%	6	29	417	89
Jøtul F 500 ECO	86%	6	67	990	99



ヨツール 245 : 比較① (寸法)

■ 幅

③ W:561mm
F200/205

② W:653mm
F400

① W:793mm
F500

■ 高さ

① H:755mm
F200/205

② H:727mm
F400

③ H:720mm
F500



JØTUL F 200



JØTUL F 400 ECO



JØTUL F 500 ECO



ヨツール 245 ： 比較②（各スペック）



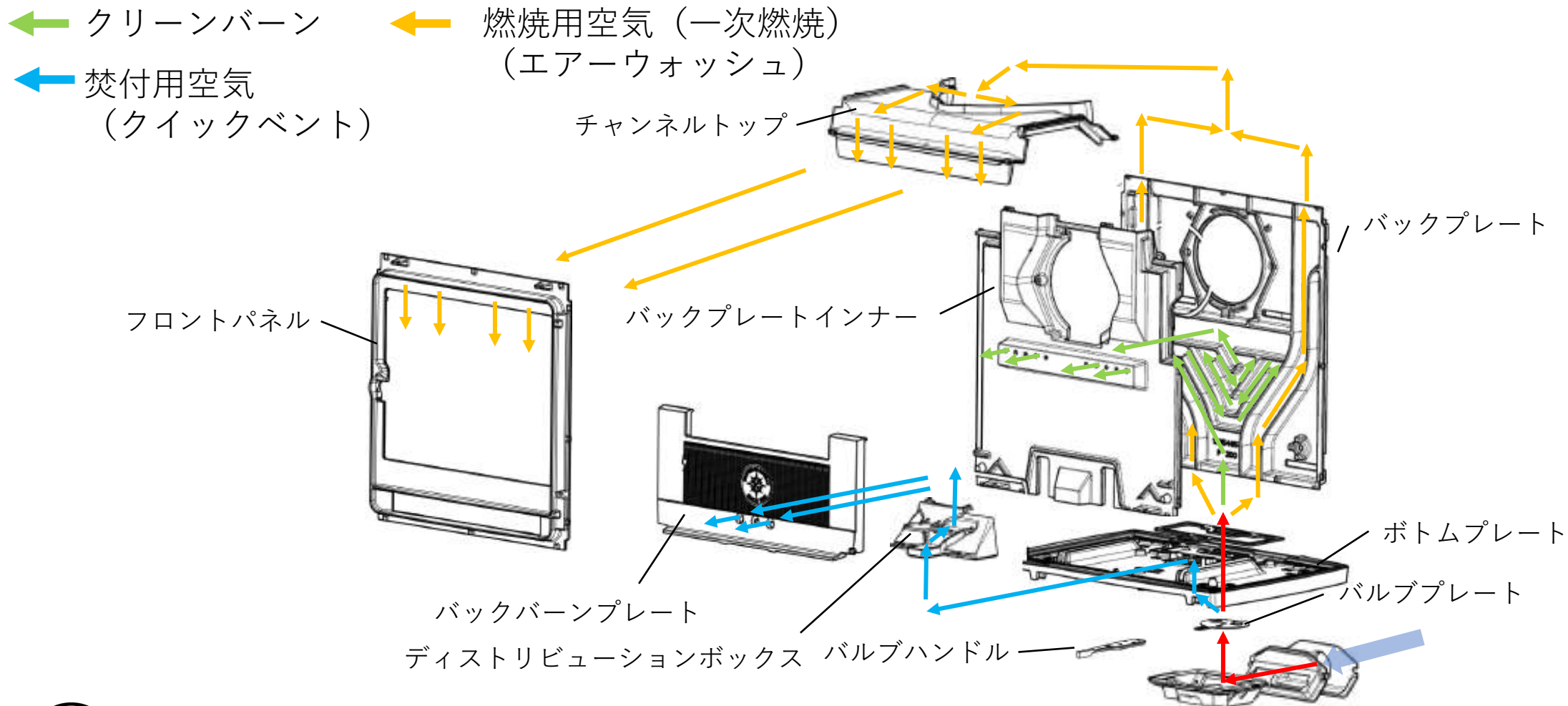
	JØTUL F 200/205	JØTUL F 400 ECO	JØTUL F 500 ECO
外気導入	○	○	○
輻射熱	○	○	○
対流熱	○	-	-
パイロットエア	-	○	○
クイックベント	○	-	-
CB空気の調整	○	-	-
定格出力（kW）	6.5	8.0	10.5

ヨツール 245 : 比較② (各スペック)

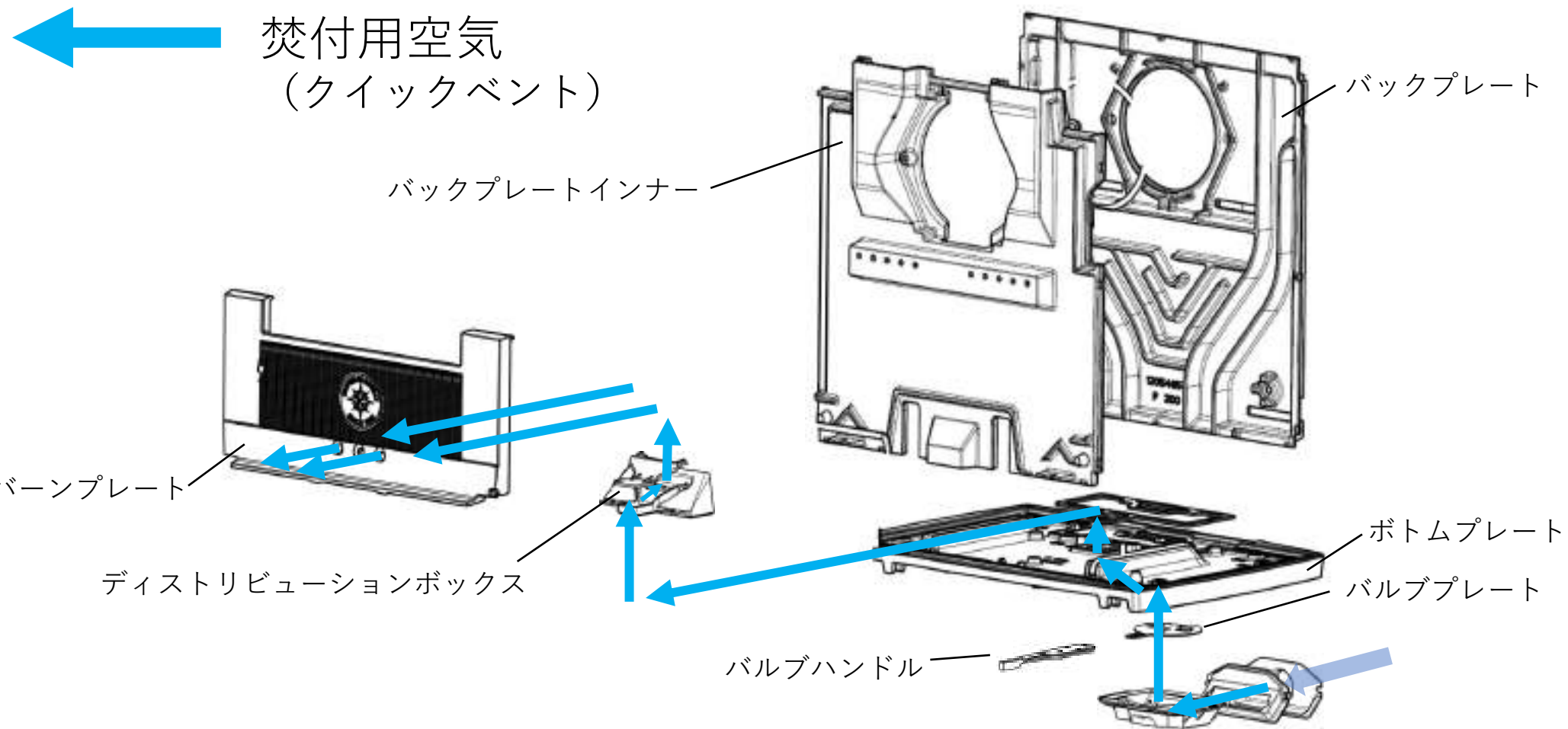


	JØTUL F 200/205	JØTUL F 400 ECO	JØTUL F 500 ECO
外気導入	○	○	○
輻射熱	○	○	○
↓ 常に燃焼室に入り続ける空気。燃焼を促すための燃焼用空気。調整不可。			
パイロットエア	-	○	○
クイックベント	○	-	-
↑ 焚き付け用空気。焚き始めの燃焼を促すための空気。調整可能。			
定格出力 (kW)	6.5	8.0	10.5

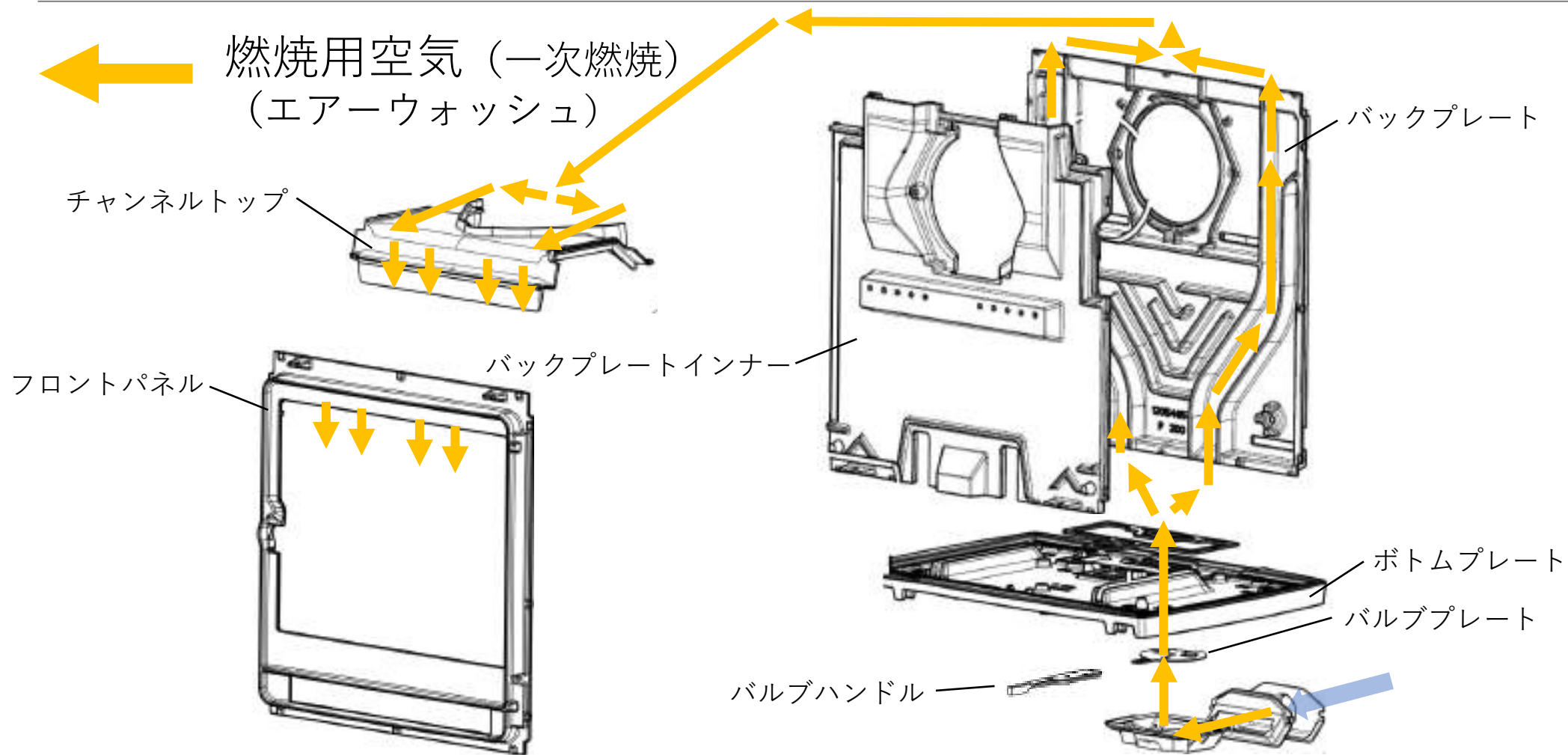
ヨツール 245 : 空気の流れ F200



ヨツール 245 : 空気の流れ F200



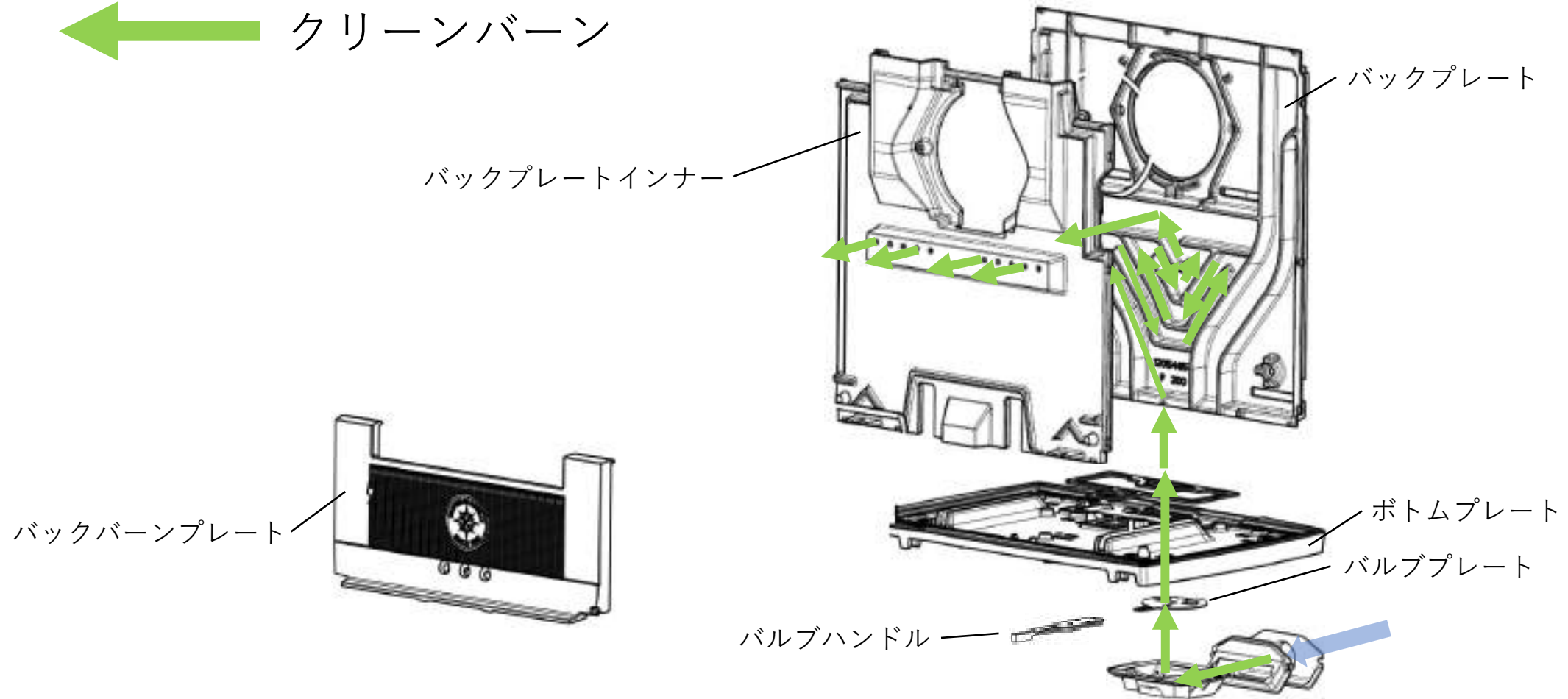
ヨツール 245 : 空気の流れ F200



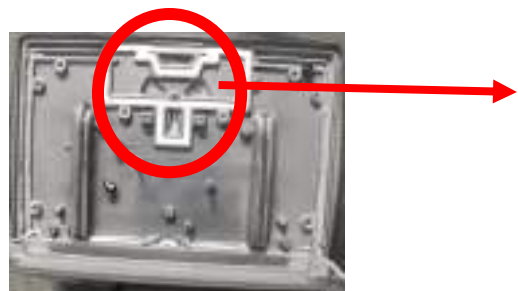
ヨツール 245 : 空気の流れ F200



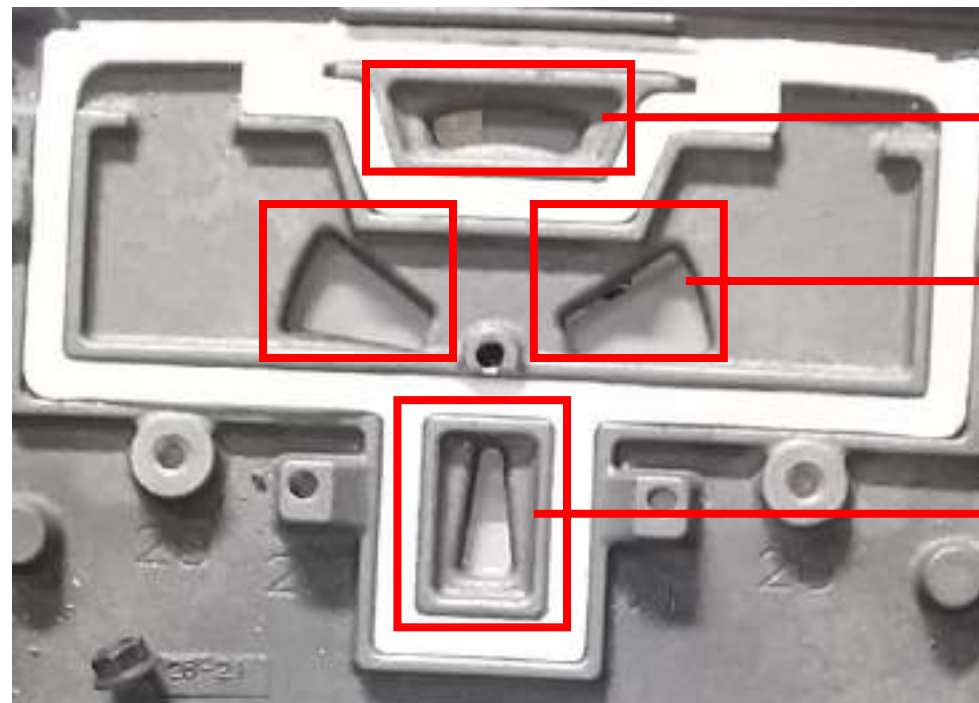
クリーンバーン



ヨツール 245 : 空気の流れ F200



ボトムプレート



クリーンバーン取入れ口

燃焼用空気取入れ口
(エアーウォッシュ)

焚付用空気
(クイックベント)

ヨツール 245 : 空気の流れ F200

空気
取込口



空気調整
レバー



全閉

燃焼空気半開

焚付空気閉じ

全開

閉



開



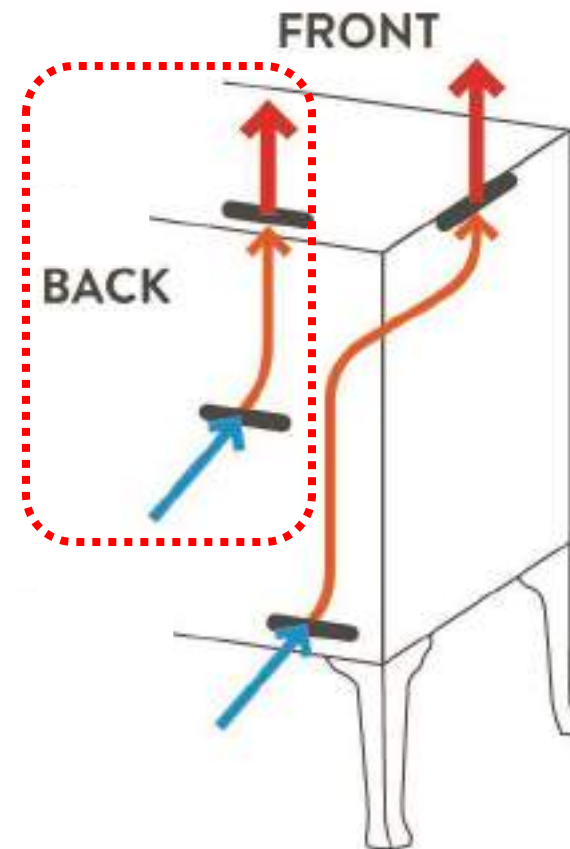
JØTUL SCHOOL 2024.9.2

ヨツール 245 : 空気の流れ F200

- 対流熱と輻射熱の二つの暖かさ

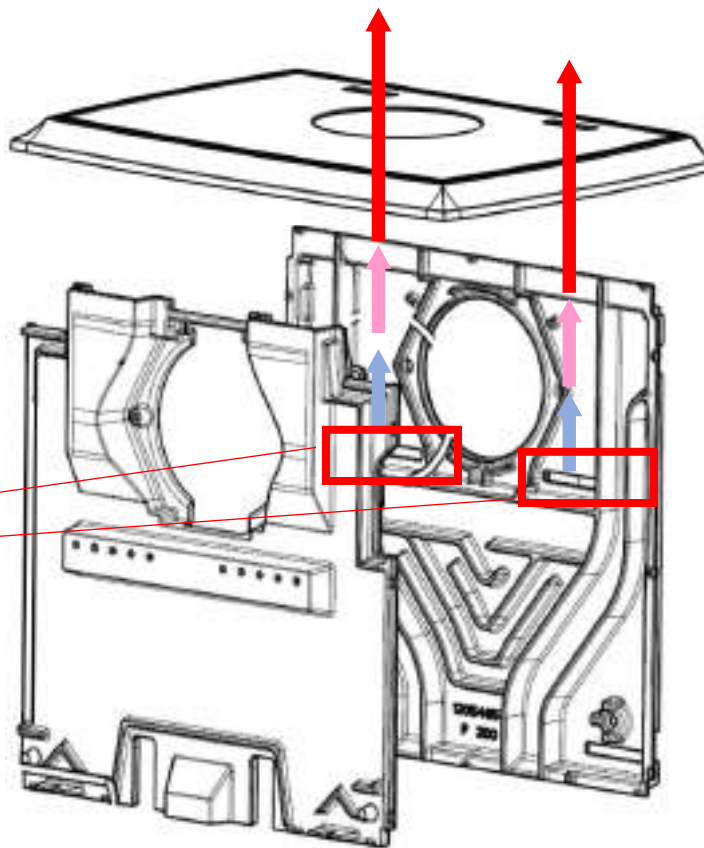
【対流熱】

- ①吹き出し：トッププレート
- ②吹き出し：サイドプレート



ヨツール 245 : 空気の流れ F200

・対流熱 ①吹き出し：トッププレート



■場所

バックプレート上部

→トッププレートから吹き出し

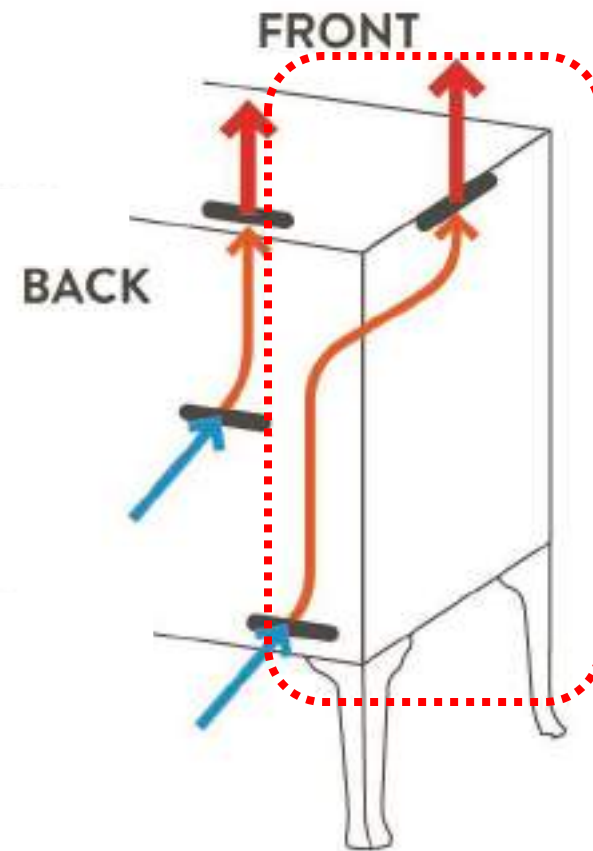
ヨツール 245 : 空気の流れ F200

- 対流熱と輻射熱の二つの暖かさ

【対流熱】

①吹き出し：トッププレート

②吹き出し：サイドプレート

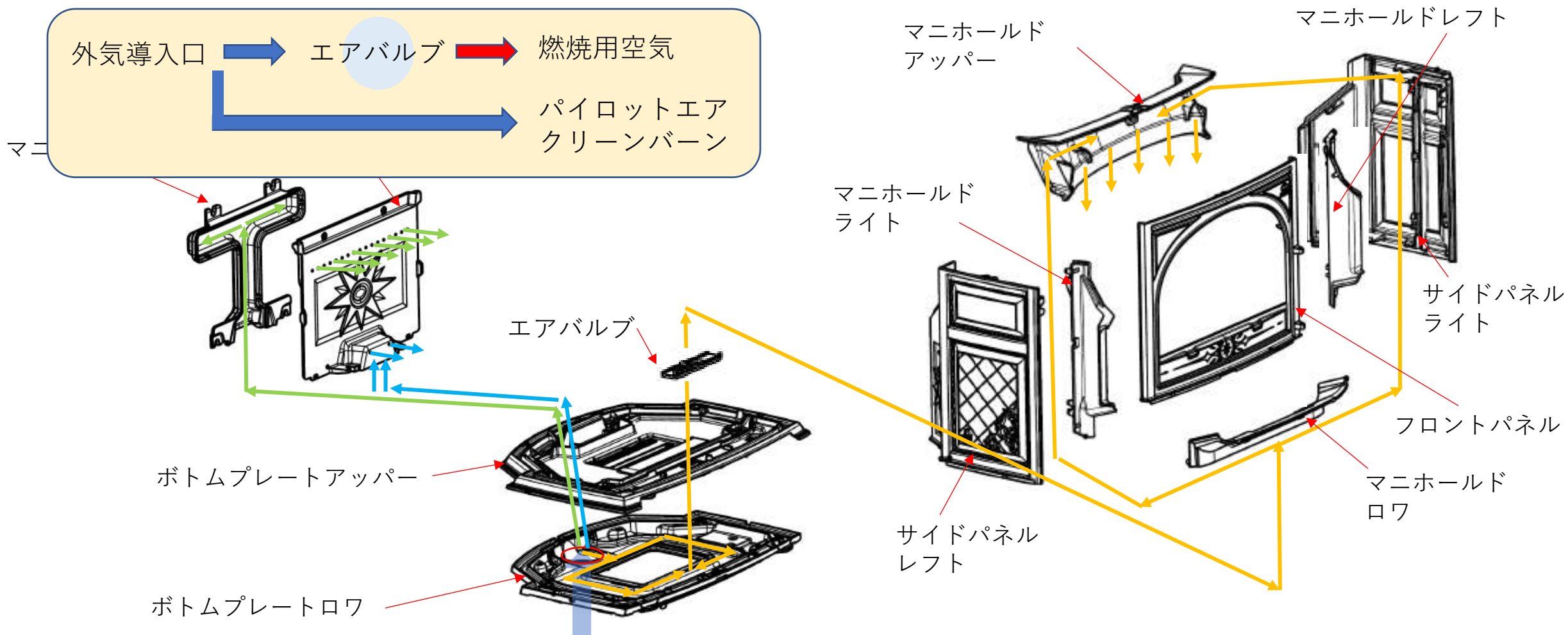


ヨツール 245 : 空気の流れ F200

- 対流熱 ②吹き出し：サイドプレート

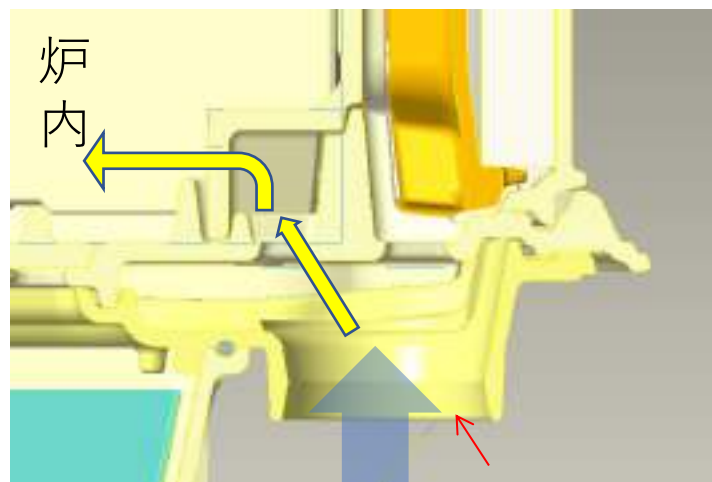


ヨツール 245 : 空気の流れ F400ECO



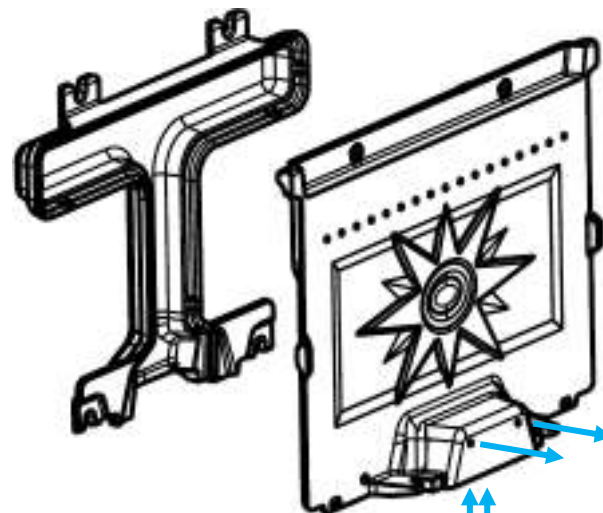
ヨツール 245 : 空気の流れ F400ECO

← パイロットエアー



マニホールドリア

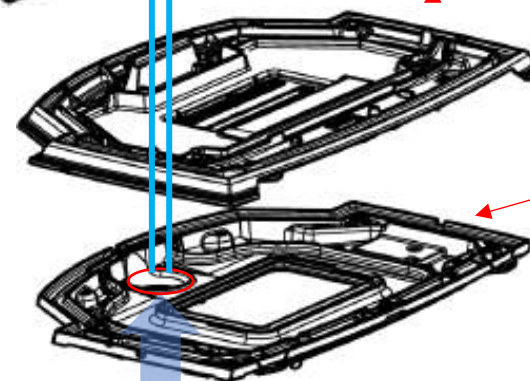
外気導入口



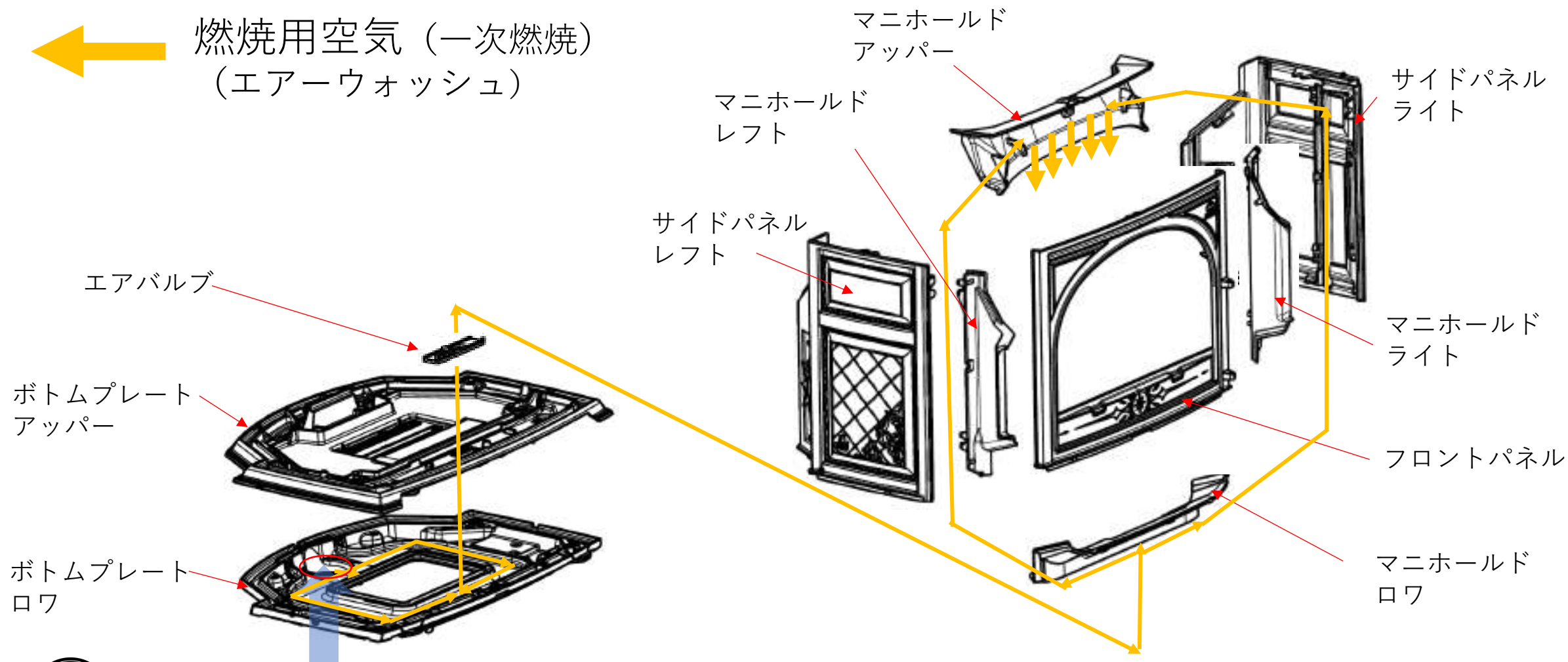
バーンプレートバック

ボトムプレートアップパー

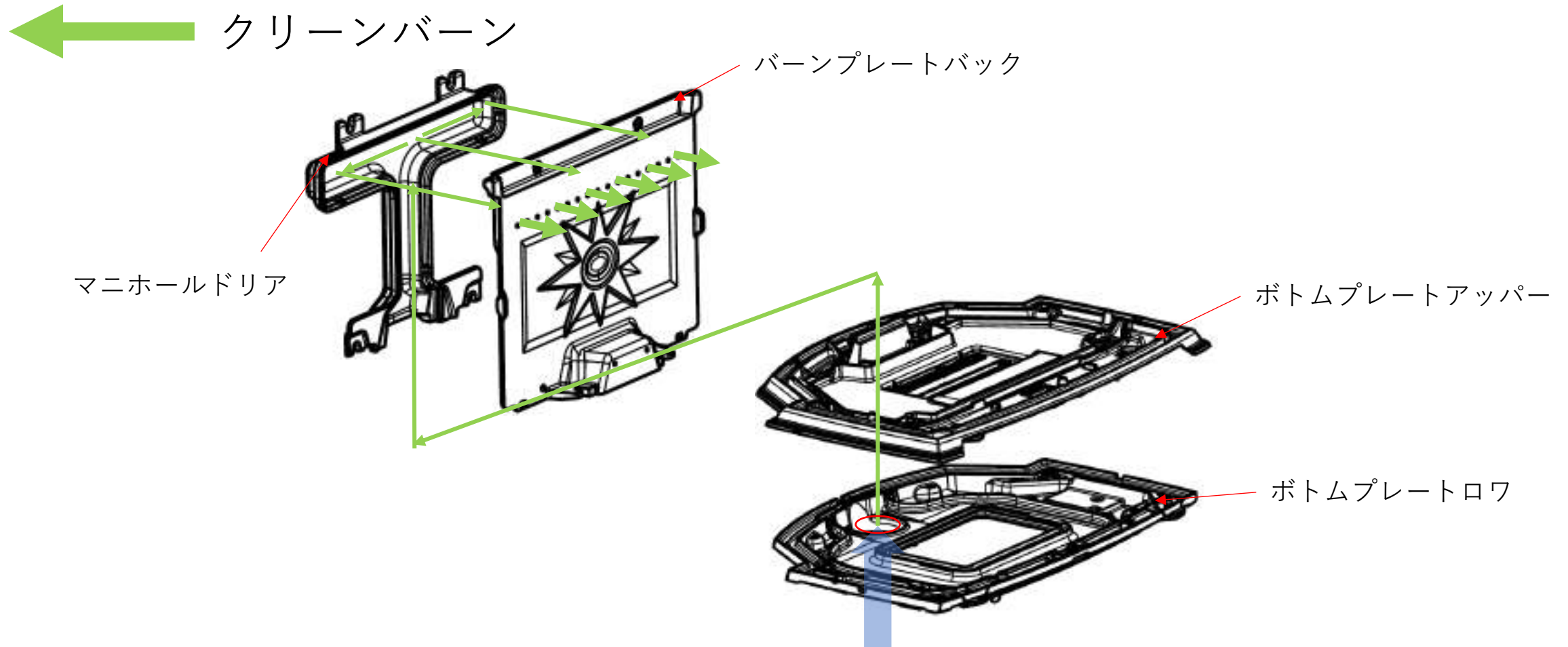
ボトムプレートロワ



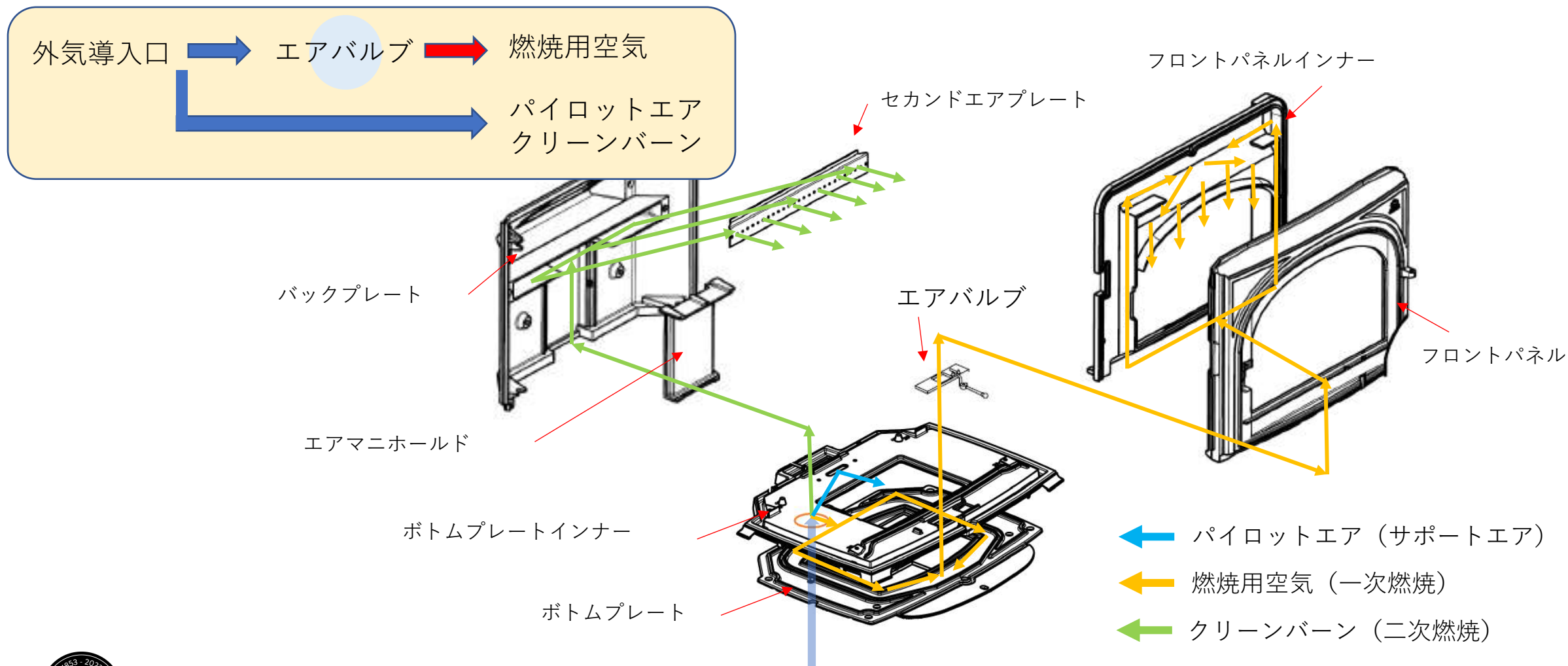
ヨツール 245 : 空気の流れ F400ECO



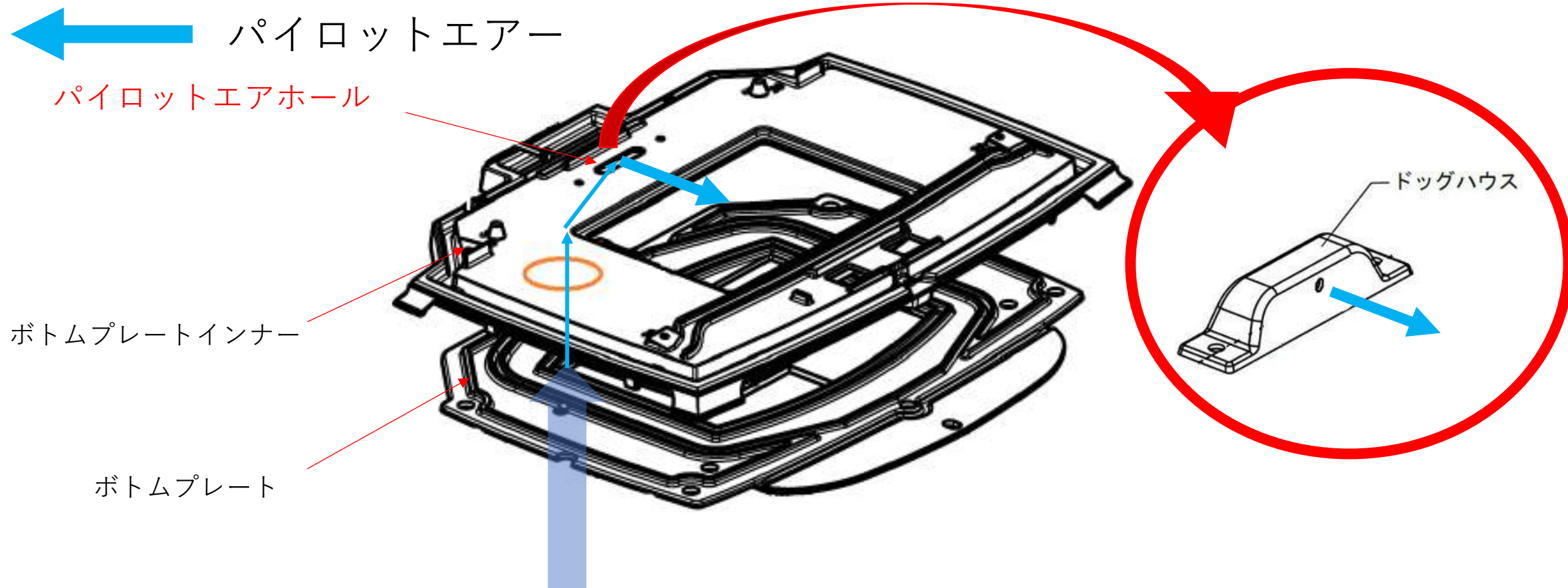
ヨツール 245 : 空気の流れ F400ECO



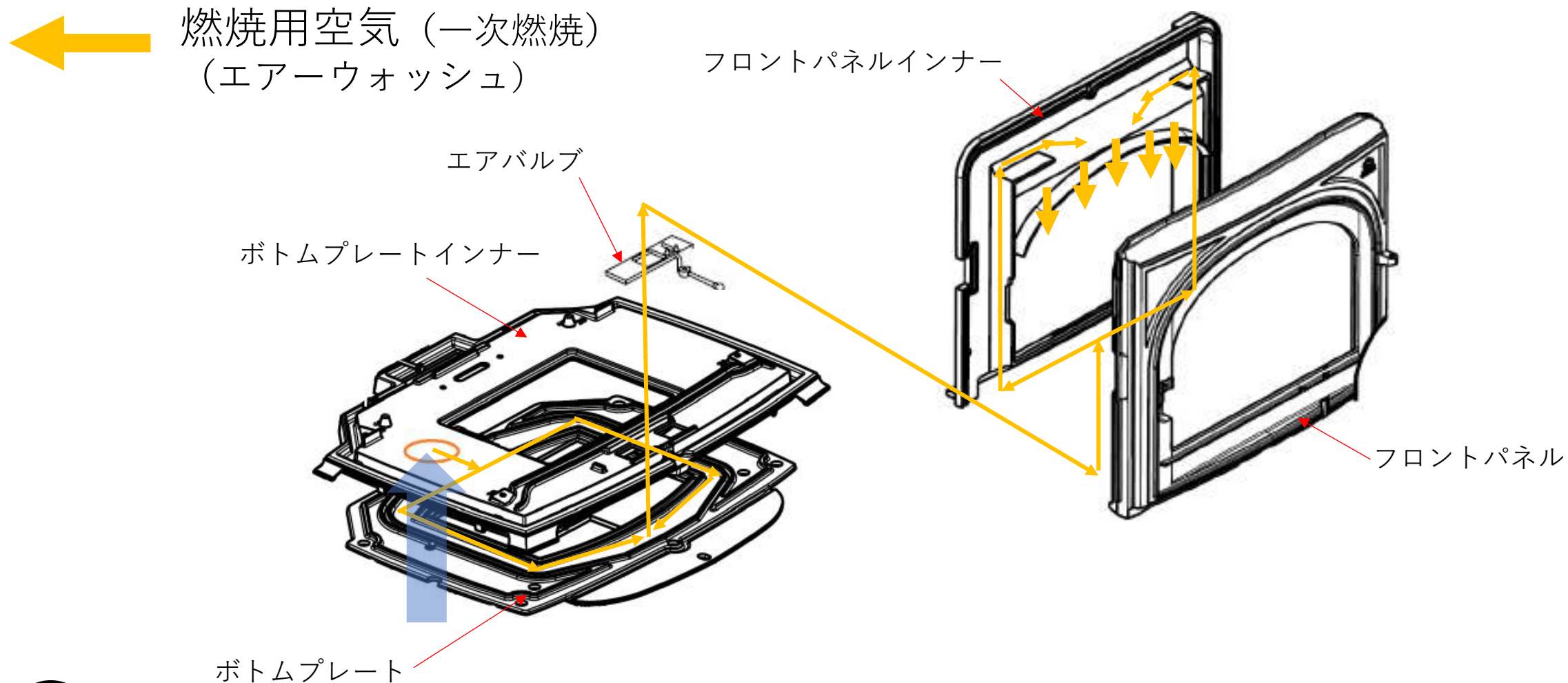
ヨツール 245 : 空気の流れ F500ECO



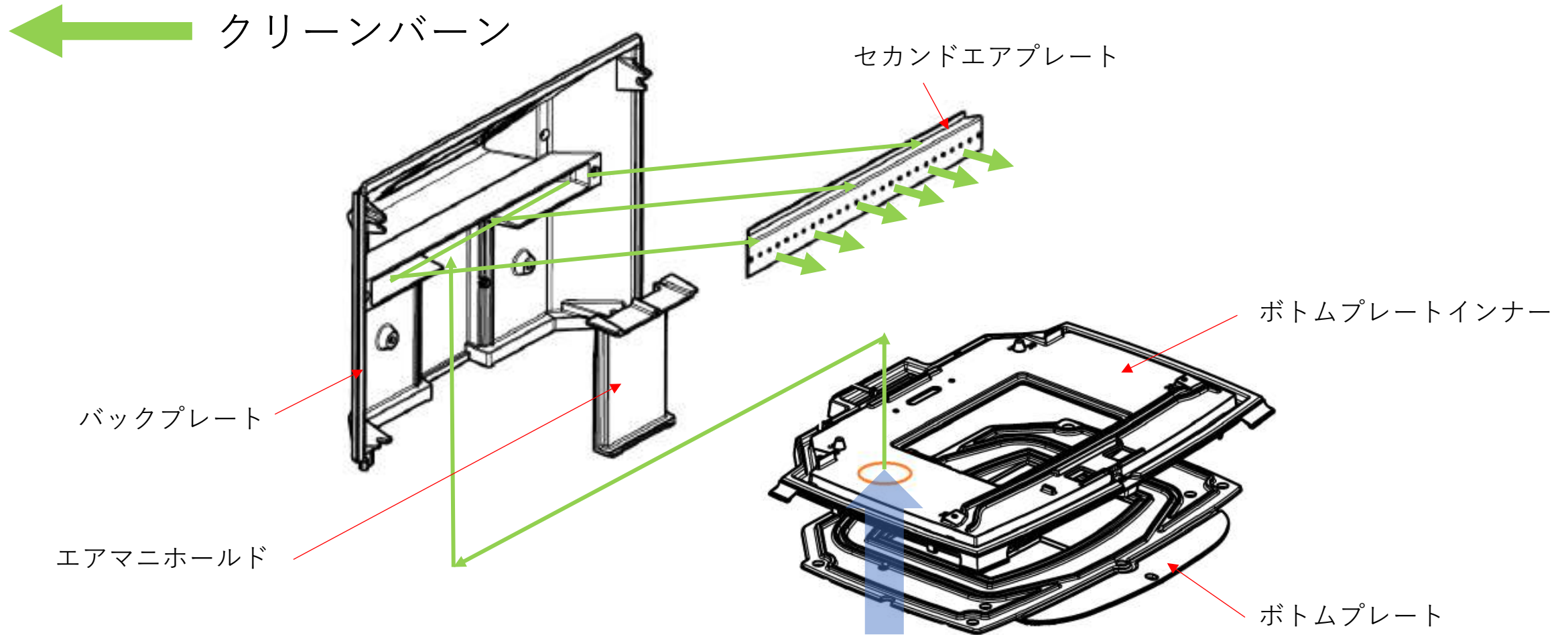
ヨツール 245 : 空気の流れ F500ECO



ヨツール 245 : 空気の流れ F500ECO

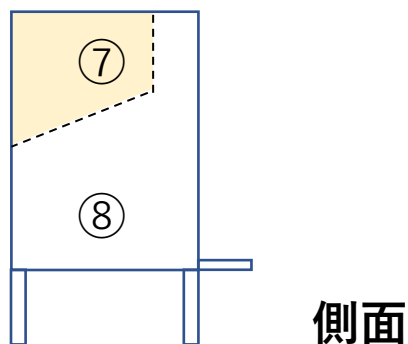
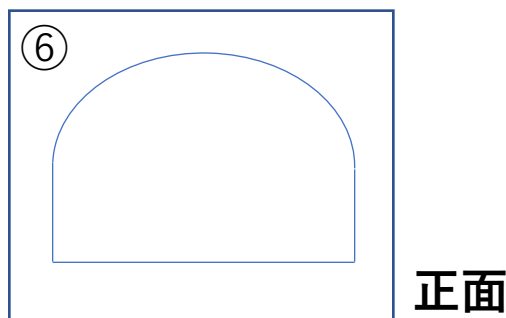
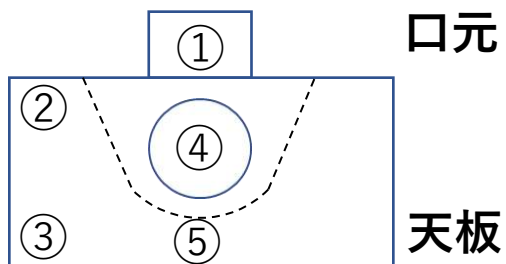


ヨツール 245 : 空気の流れ F500ECO



ヨツール 245 : 温度テスト F200

単位 : °C



位置 分	口元 ①	天板 ②	天板 ③	天板 ④	天板 ⑤	正面 ⑥	側面 ⑦	側面 ⑧
20	117	65	82	198	131	93	96	42
30	122	90	102	205	150	111	116	61
40	104	108	116	203	153	130	133	92
50	107	111	119	196	152	133	138	104
60	142	118	127	225	165	139	149	110
90	122	140	154	250	203	176	202	162
120	93	120	129	183	157	149	157	155
150	140	134	152	240	196	167	193	163
180	96	129	141	201	164	163	173	166

薪2.2kg
焚付

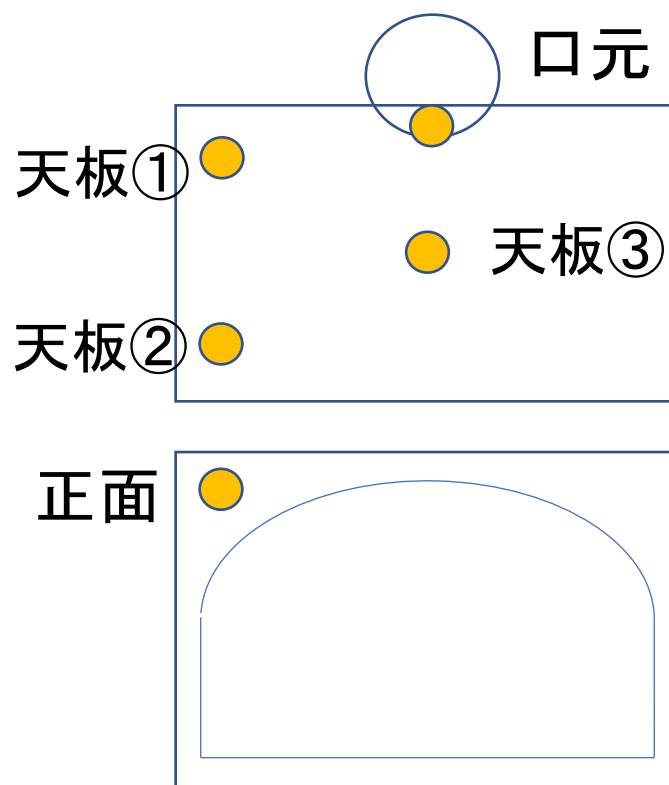
薪1.5kg
追加

薪1.5kg
追加



JØTUL SCHOOL 2024.9.2

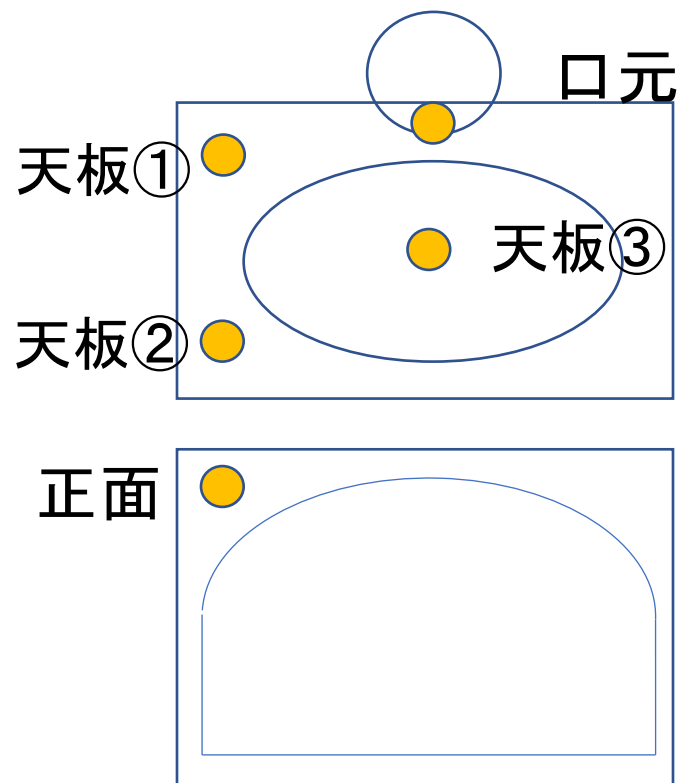
ヨツール 245 : 温度テスト F400ECO



温度計の位置

	口元	天板①	天板②	天板③	正面
20分	104	140	140	217	73
30分	156	185	244	252	124
40分	188	221	234	259	180
50分	196	215	239	241	199
60分	195	221	210	230	195

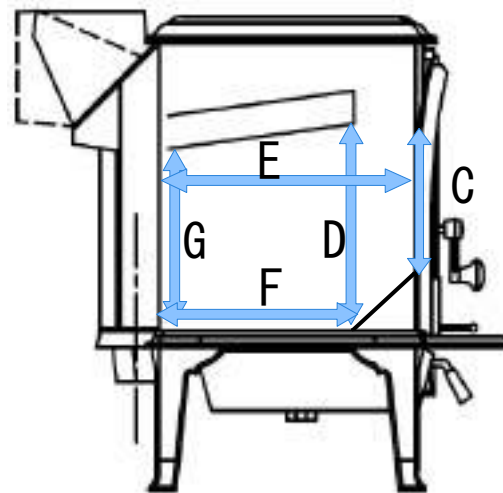
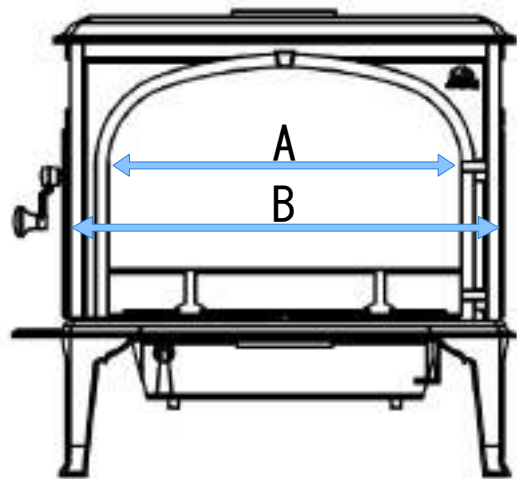
ヨツール 245 : 温度テスト F500ECO



温度計の位置

	口元	天板①	天板②	天板③	正面
20分	170	148	185	320	183
30分	194	175	189	310	229
40分	193	178	179	263	244
50分	189	170	176	250	239
60分	180	168	173	228	207

ヨツール 245 ： 炉内寸法



	A	B	C	D	E	F	G
F200	420	440	260	280	270	210	190
F400	510	500	240	310	330	250	240
F500	460	600	250	320	400	290	270

ヨツール 245

- 根強いクラシックデザインの人気
- 今後は小型、中型クラスが増加傾向
- ヨツールの代表的なクラシックラインの3モデル



迷ったら245をお勧めください！

F 500ECO / F 400 ECO / F 200 ・ 205

- その他製品説明
- 仕様変更
- メンテ方法



JØTUL F 500 ECO



ヨツール F 500 ECO

- バッフルサポートバーについて
- 薪の投入量
- パイロットエアについて
- その他部材、交換方法



事例 バッフルサポートバーの曲がり・外れ



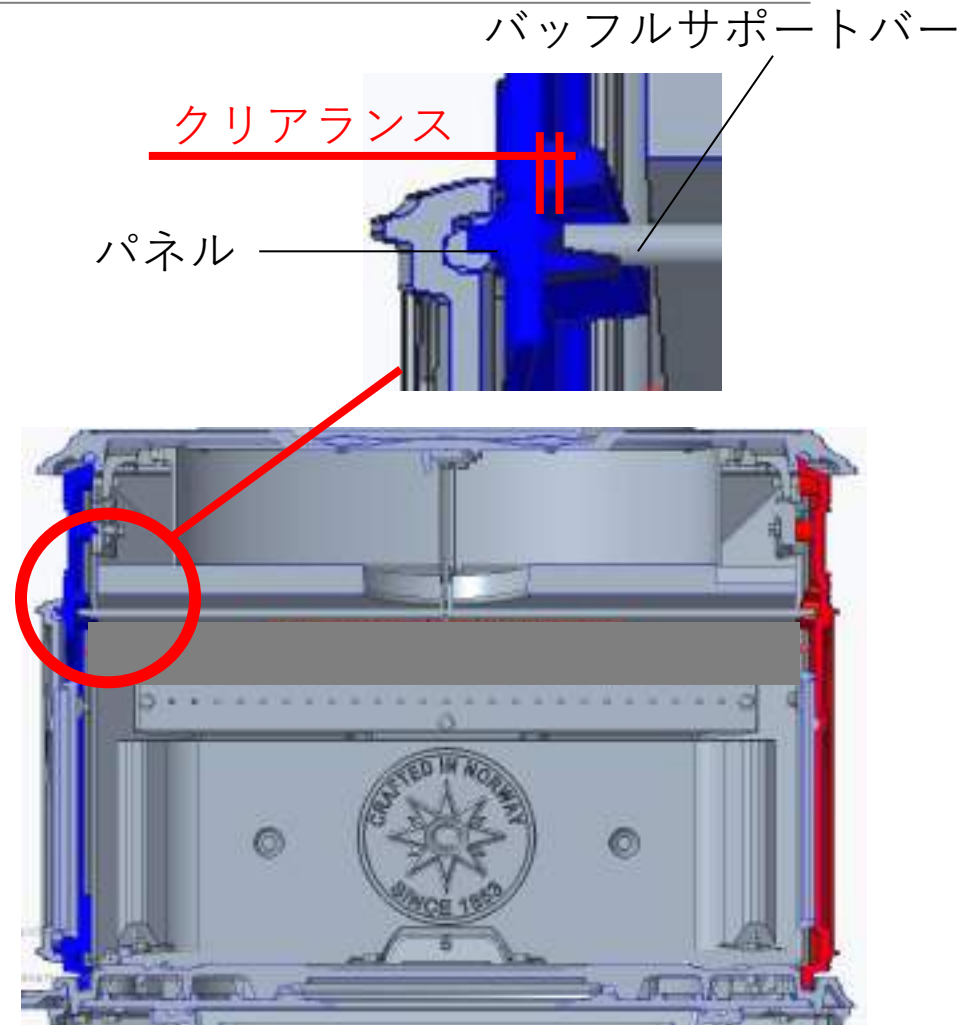
原因と対策

【原因】

一部の製品でバッフルサポートバーとサイドパネルとのクリアランス（隙間）が不足している

【対策】

SUS310S 641mmのバーへ交換する
長さ645mmのバーを4mmカットする



バッフルサポートバー クリアランス確認手順



①バーを左に引く



②バーが左側サイドパネルに当たっているか確認する



③ブラケットを動かさず、バーに印を付ける（ブラケット右側）



④バーを右に引く



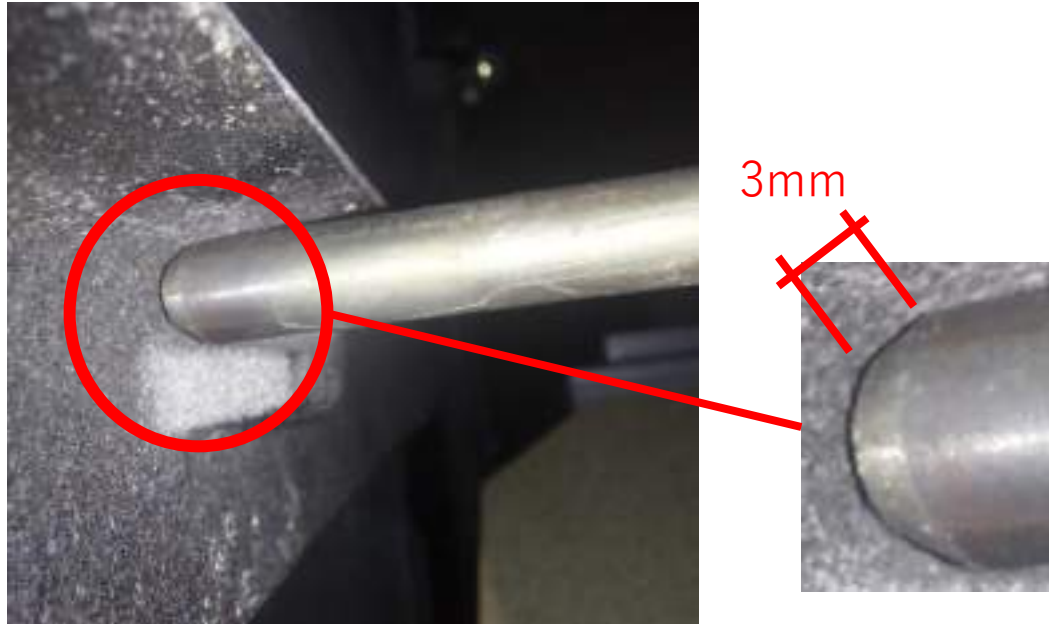
⑤バーが右側サイドパネルに当たっているか確認する



⑥ブラケットを動かさず、印からブラケット右側まで測定する

※重要：この場合は稼働幅が6mmなのでカット(バー交換)する必要はありません。

バッフルサポートバー 確認事項



必要に応じてバーの稼働幅 6 mmになる様カット (バー交換)し、更に3 mm の面取りを行います。
※面取りは、バーがサイドプレートの端まで確実に取付及び拡張できるようにするために必要です



バーを正しい位置にセットし右側へ引きます。
※必ずバーの左側が短すぎない事を確認してください

バーのカット・交換についてのご対応

【バーの発送】

- ・ 送付ご依頼メールをお受けし随時発送

【対象本体】

- ・ 2021年2月～2024年3月迄発送分

【費用】

- ・ 税込 5,000円/台

【対象ケース】

- ・ バーの可動が6mm未満のバーを交換またはカット作業
- ・ バーが大きく変形しフックや左右の掛かりから外れ交換作業

【期間】

- ・ 2026年8月末迄



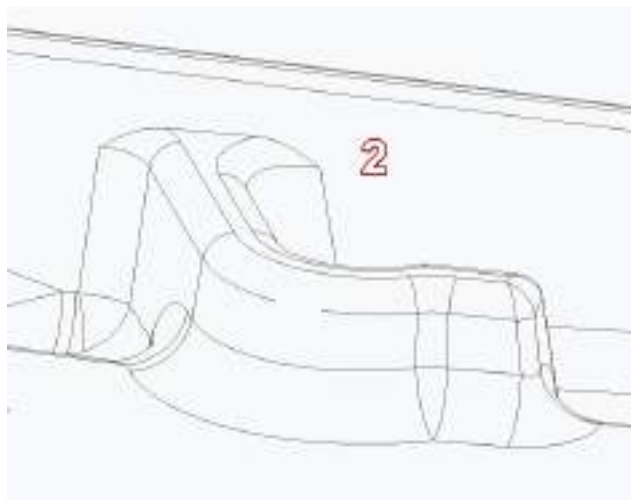
交換完了後の費用申請方法

- メールにて info@jotul.co.jp より申請
- 御社名
- ご担当者名
- 交換完了日
- 製品名
- コーシヨンプレート番号
- 保証書番号



変更点 リブの深さ・バーの長さ (641mm)

現行

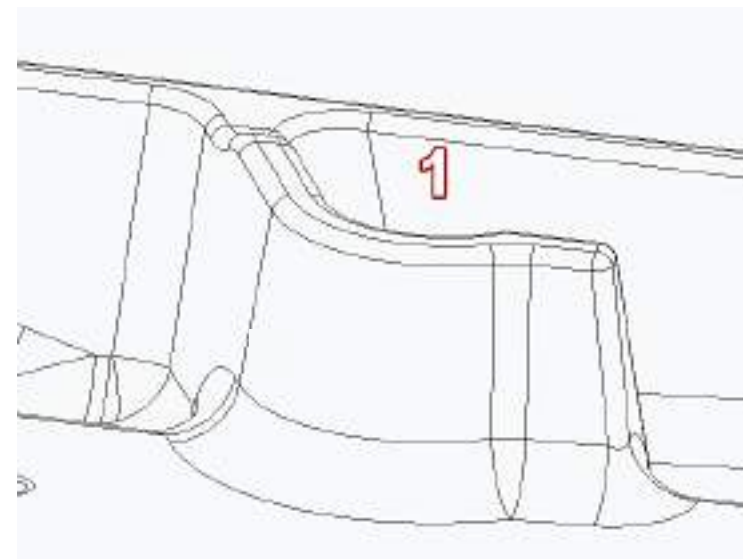


- 突起高さ 6mm の現行版

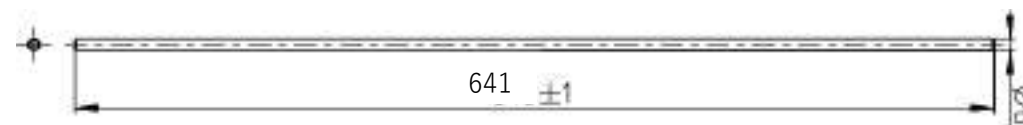


- バッフルサポートバー 645mmへ

今後



- 突起高さ 12mm の改良版



- バッフルサポートバー 641mmへ

変更点 ブラケット（フック）



ブラケット B



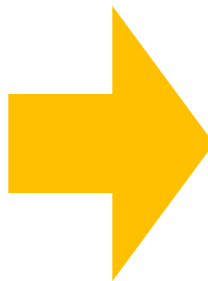
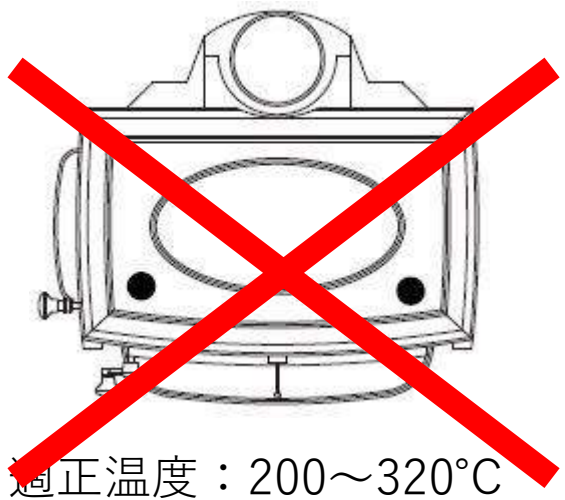
ブラケット φ20



ブラケット C

ご注意 薪の投入量

- 適正運転の目安変更（ヨツールストーブ全ラインナップ）
 - 温度計設置箇所と適正温度の記載削除
 - 適切な薪の投入量で適正運転を判断**
（ヨツール F 500 ECO _ 適切な薪量「2.4kg」）



2. 製品仕様

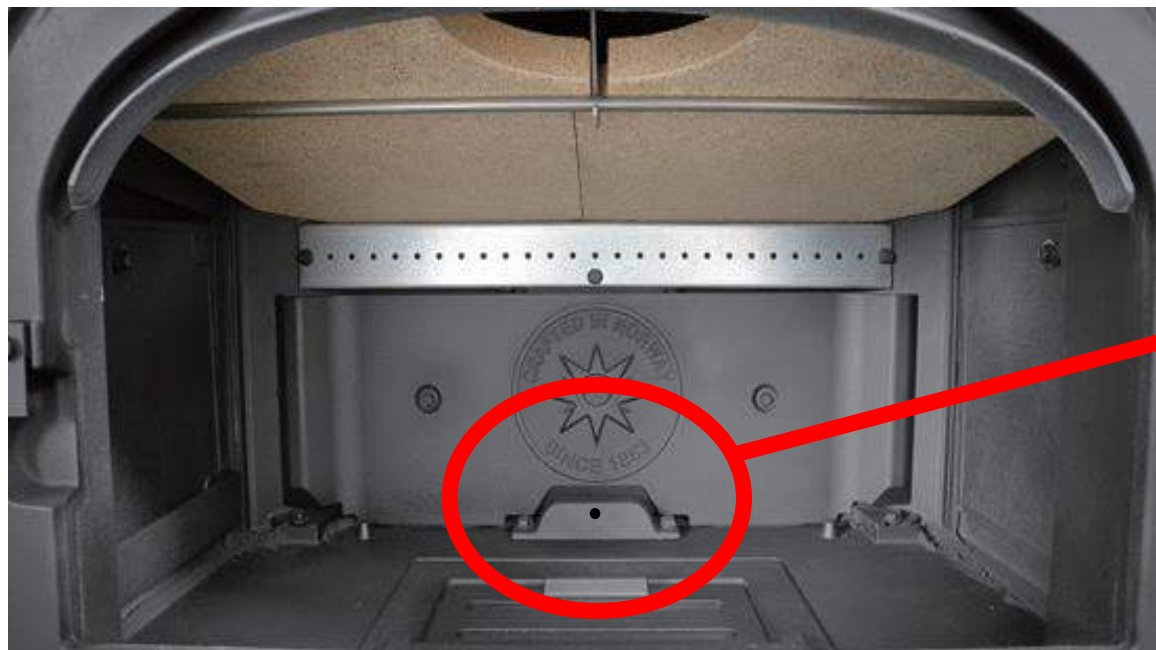
製品名	Jetul F 500 ECO (SE)
本体寸法	幅 793 × 奥行 713 × 高さ 720mm
重量	200kg
最小出力	6.4kW (5,504kcal/h)
定格出力	10.5kW (9,030kcal/h)
最大出力	13.9kW (11,954kcal/h)
最大/推奨薪長	55cm / 30-55cm
暖房面積	～200 m ² (61 坪)
適切な薪量	2.4kg/h (定格出力より算定) <T4>
燃焼方式	クリーンバーン (2 次燃焼方式)

適切な薪の投入量 目安

- ヨツール F 500 ECO _ 適切な薪の投入量「2.4kg」
 - 長さ_35cm / 太さ_8~13cm / 投入量_2-3本程度



パイロットエア解放



F500ECO燃焼室内



パイロットエア吹き出し口

ヨツール F 500 ECO : パイロットエア解放

A



パイロットエアホール1個

A-1



カバープレート付き

A-2



パイロットエアプレート付き

- ※1. 燃焼状況に応じ、そのまま
ご使用ください。
※2. パイロットエアプレートを取
付、ご使用ください。
(A-2へ)

そのままご使用ください。

B



パイロットエアホール2個

B-1



カバープレート付き

カバープレートを取り外し、
ご使用ください。
(B-2へ)

B-2



そのまま

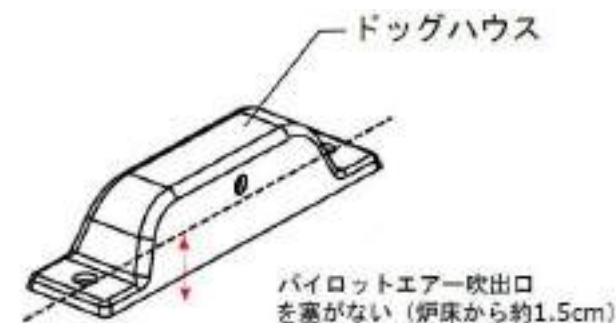
そのままご使用ください。

パイロットエア周辺の灰

- 炉内の灰を溜めすぎないこと。



F500ECO_炉内



F500ECO機種別取説_参考図より

バッフルサポート



赤丸は支持している位置



セット方法 - バッフルサポート -

バッフルサポートを左右のリブや中央のブラケットに正しくセットする



左のリブ



ブラケットのフック

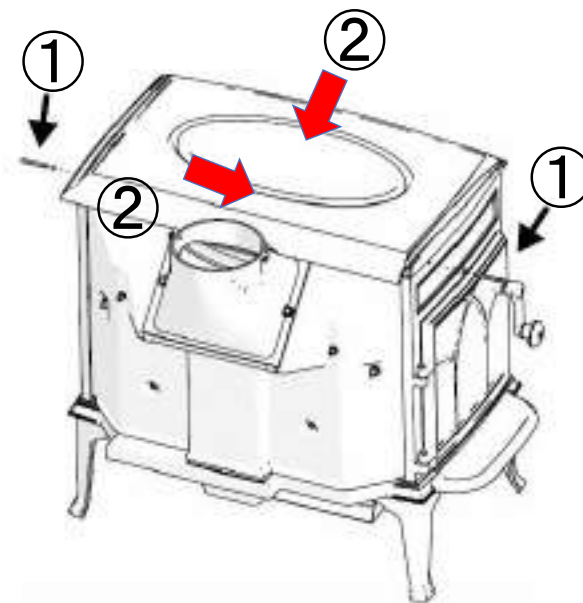
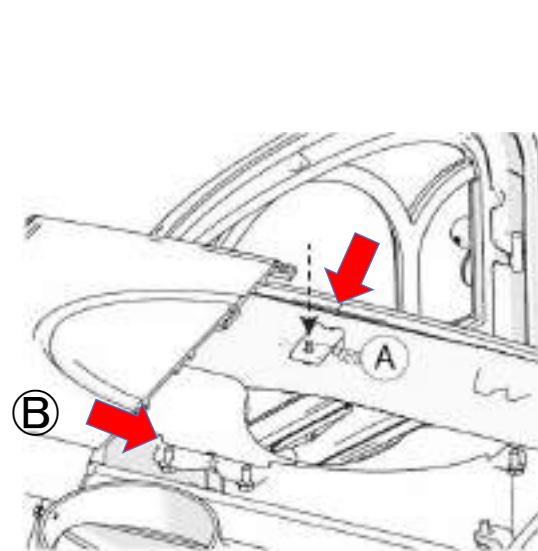
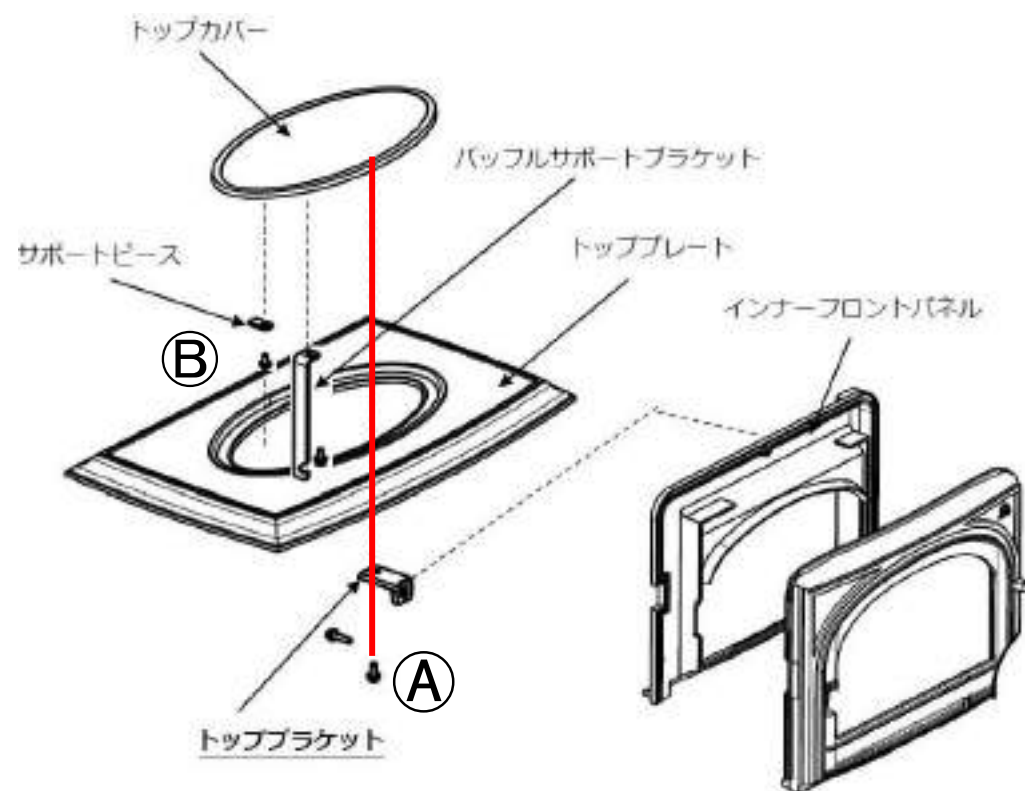


右のリブ

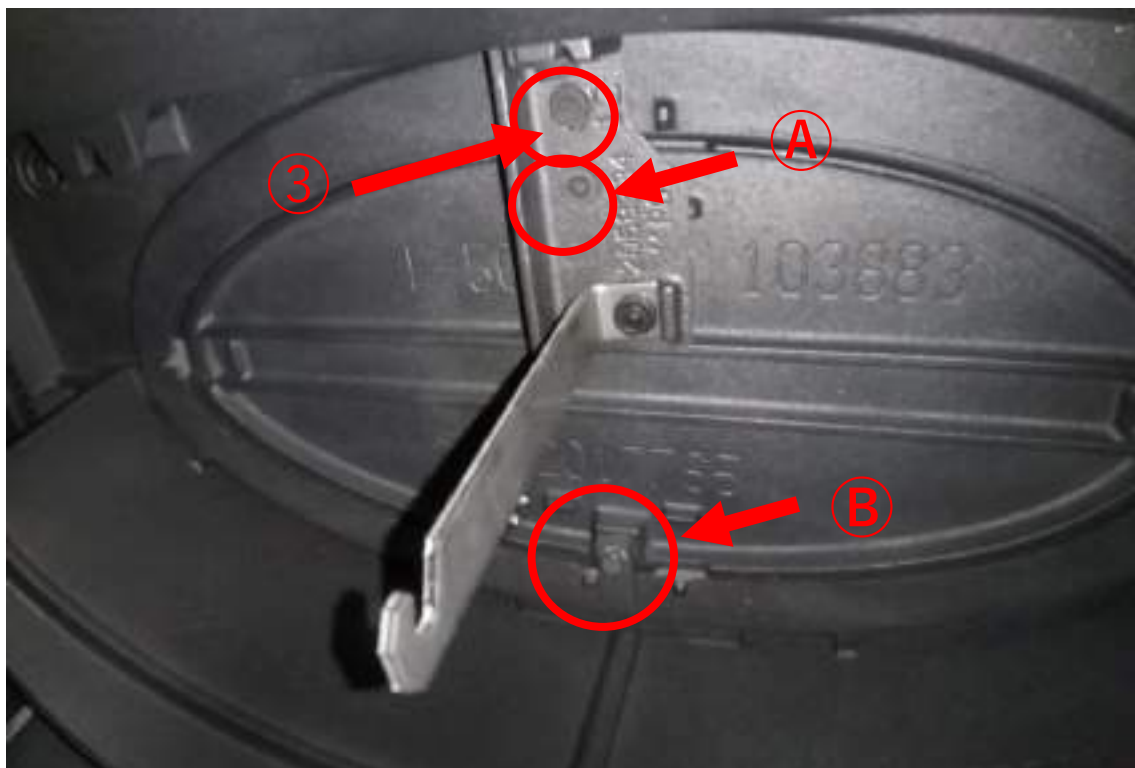
トッププレートの外し方 初期モデル

①サイドパネル左右のボルトを取る

②トップカバー2箇所（①②）のボルトを取る

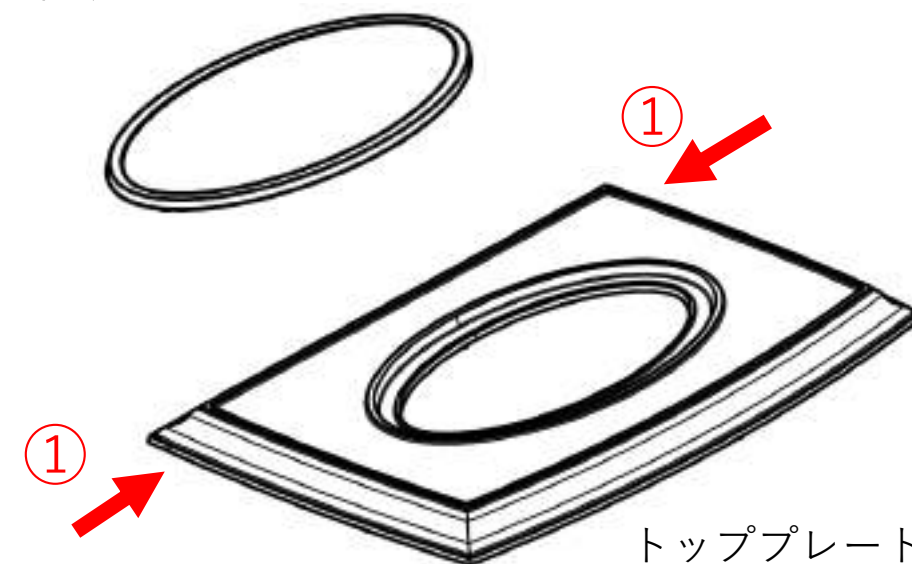


トッププレートの外し方 現行モデル



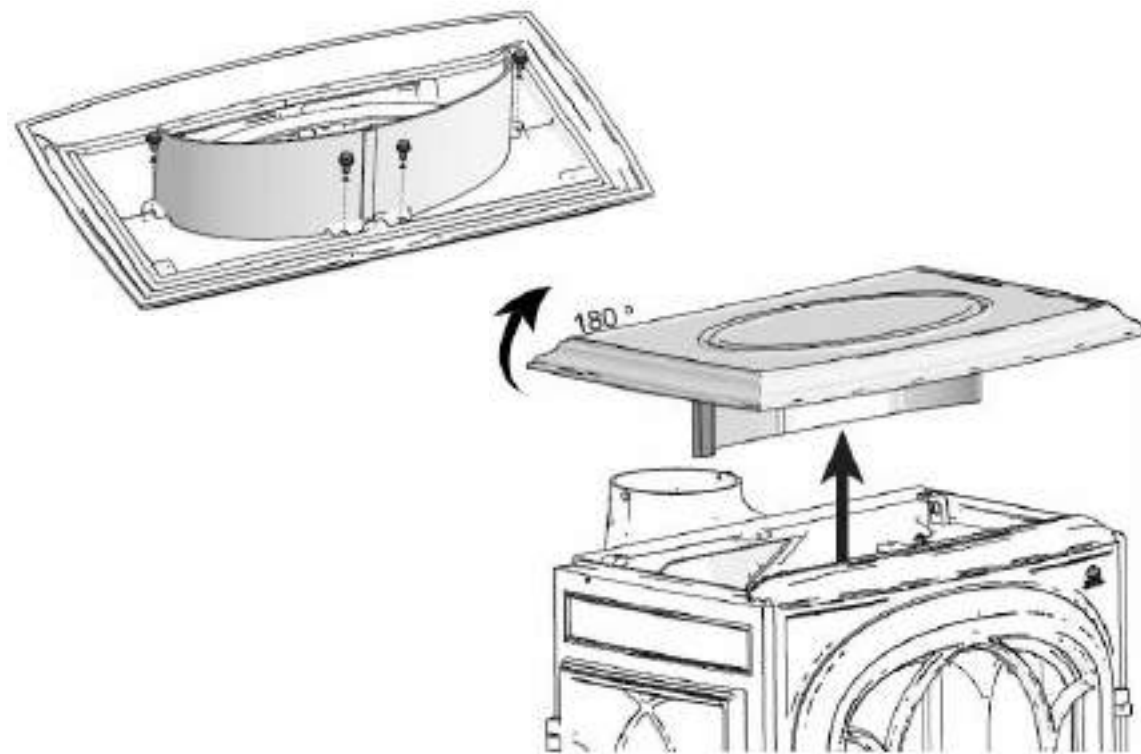
- ①サイドパネル左右のボルトを取る
- ②トップカバー2箇所（①②）のボルトを取る
- ③トッププレートのボルトを取る

トップカバー



エアディフレクター

エアディフレクター（熱抵抗板）で炉内の温度を上昇させると共に蓄熱性をアップ



※ F 305 , F 100 ECOと同様に天板に固定されている

バッフル



バッフル

バッフルサポート

インシュレーション
マット

バッフル

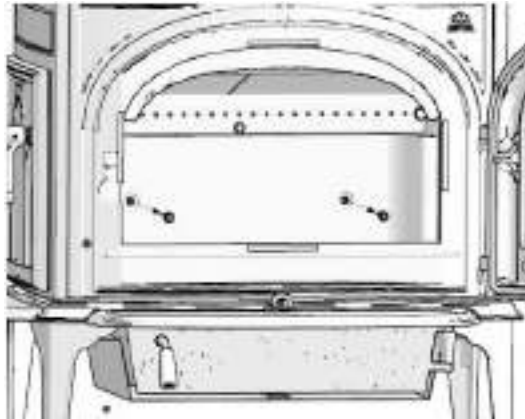
- バッフル（2分割）の材質はバーミキュライト製。バッフルサポートで支持されている。天板を取り外した場合は上部より取外し可能



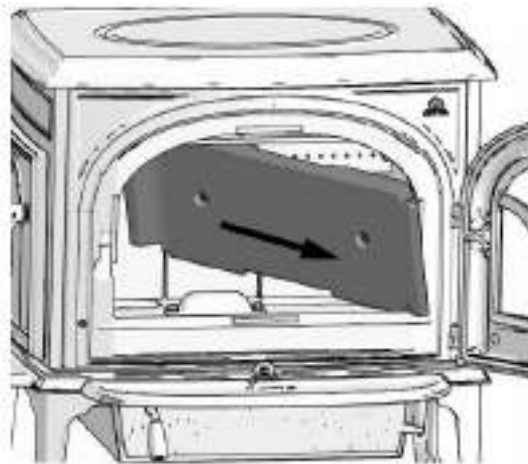
バッフル

バッフルインシュブランケット

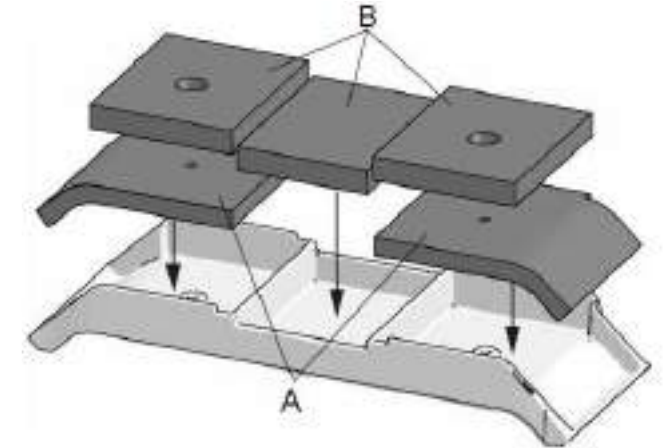
バックバーンプレート



表面



裏面

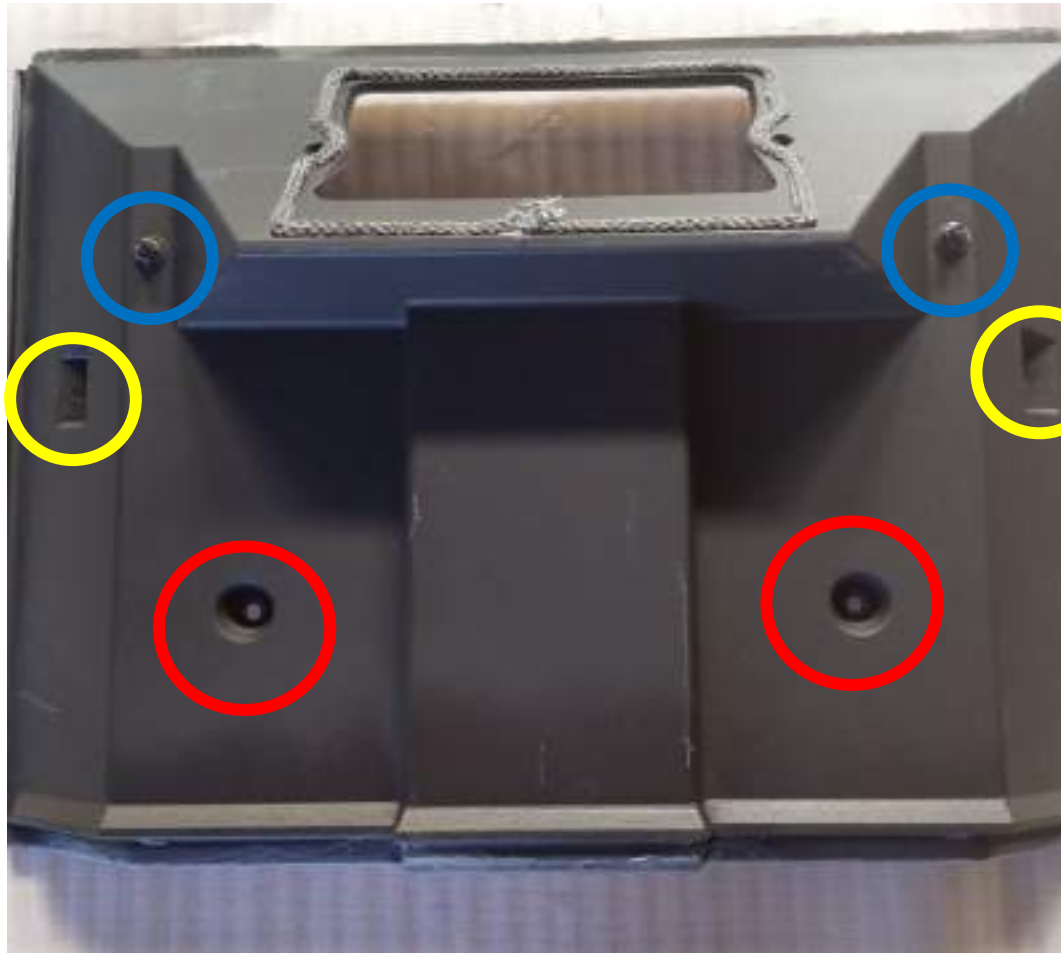


インシュレーションマット

A 厚さ19mm 2枚

B 厚さ25mm 3枚

バックパネル



- 内部部材を固定しているナットが外装部に配置されている
- 青色 リアヒートシールド（変更なし）
- 黄色 セカンドエアプレート
- 赤色 バックバーンプレート

アッシュグレート



- 開閉式
- 通常時は閉じて使用
- 灰の処理時に開口しアッシュパンへ灰を落とす
- アッシュドアからの空気の流入（過燃焼）を防ぐ

仕様変更：F500ECO ドアキャッチ形状変更



現行F500ECOドアキャッチ



新F500ECOドアキャッチ

理由：ドアロックが外れにくい

JØTUL F 400 ECO



ヨツール F 400 ECO

- バーンプレートバックについて
- パイロットエアについて
- その他部材、交換方法



バックバーンプレート

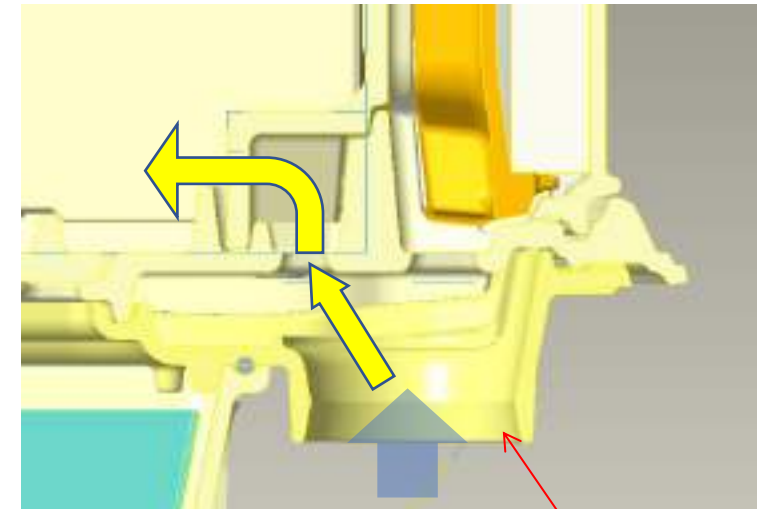


旧 バックバーンプレート



現行 バックバーンプレート

パイロットエア解放



外気導入口

ヨツール F 400 ECO：パイロットエア解放



- 外気導入口への灰の落下を防ぐ為にパイロットエアホールを塞ぎ出荷

→

M5スクリュー（六角イモネジ）
で2か所、パイロットエアを塞い
でいた

ヨツール F 400 ECO：パイロットエア解放

■ヨツール F 400 ECO

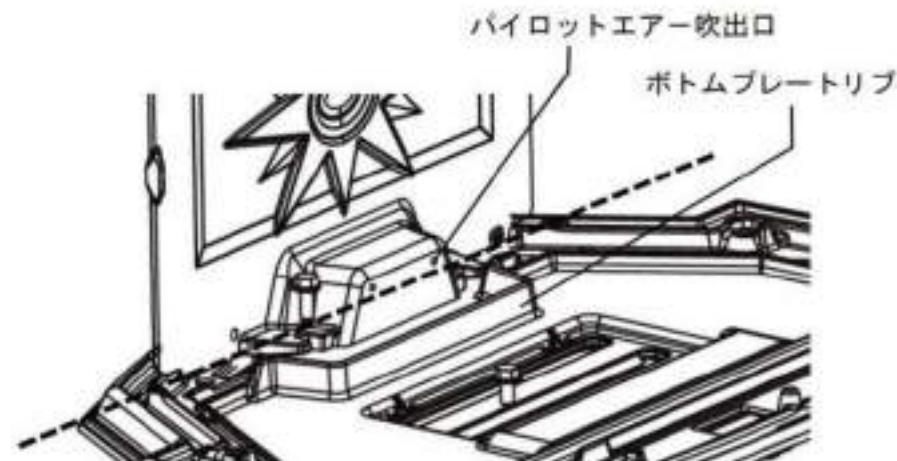
・炉内の灰は、常に 2～3cm 残しておいてください。

(下記へ変更)

・バックバーンプレートにあるパイロットエア吹き出し口は灰で埋もれないようご注意ください。

(手前にあるリブを目安にパイロットエア付近にある灰を取り除いてください)

・炉内掃除の際はパイロットエア吹き出し口から外気導入口への灰こぼれに注意し、外気導入口下は養生をするようにしてください。



パイロットエア吹き出口を塞がない。
ボトムプレートリブ付近の灰は取り除く。

JØTUL F 200/205



ヨツール F 200 / F 205

- 仕様変更
- その他部材、交換方法



仕様変更：F200／F205オートクローズ部材追加



ドアヒンジ付近

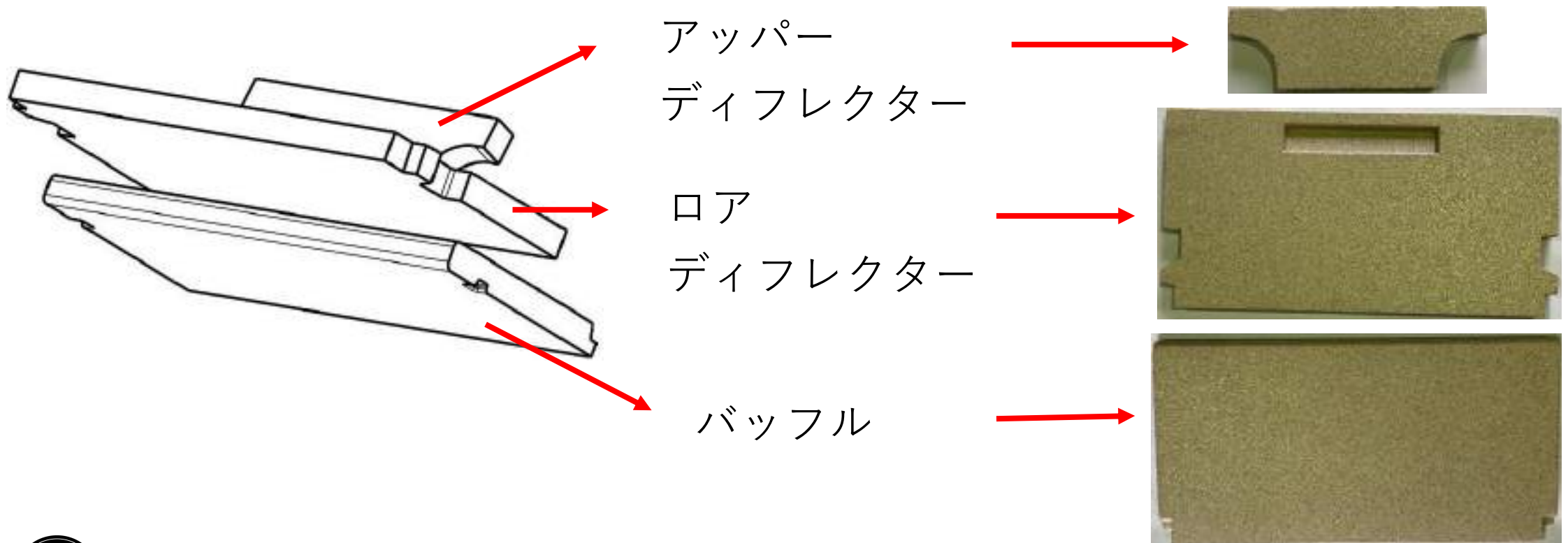


燃焼室右奥

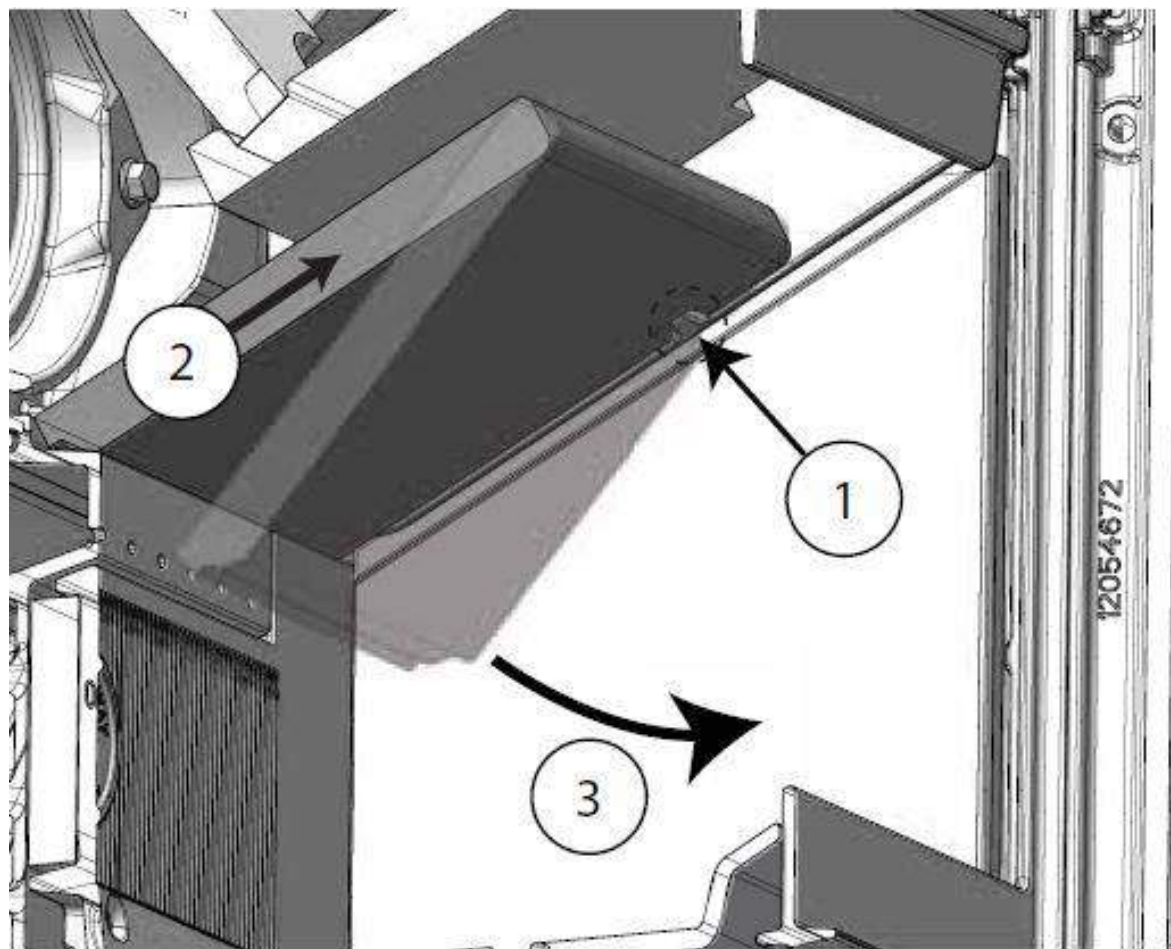
理由：ドアの開き防止

バッフル/ディフレクター

- バッフルとディフレクター（抵抗板）はバーミキュライト製。クリーンバーン吹き出し口上部、サイドパネル突起にて支持されている



バッフル 外し方

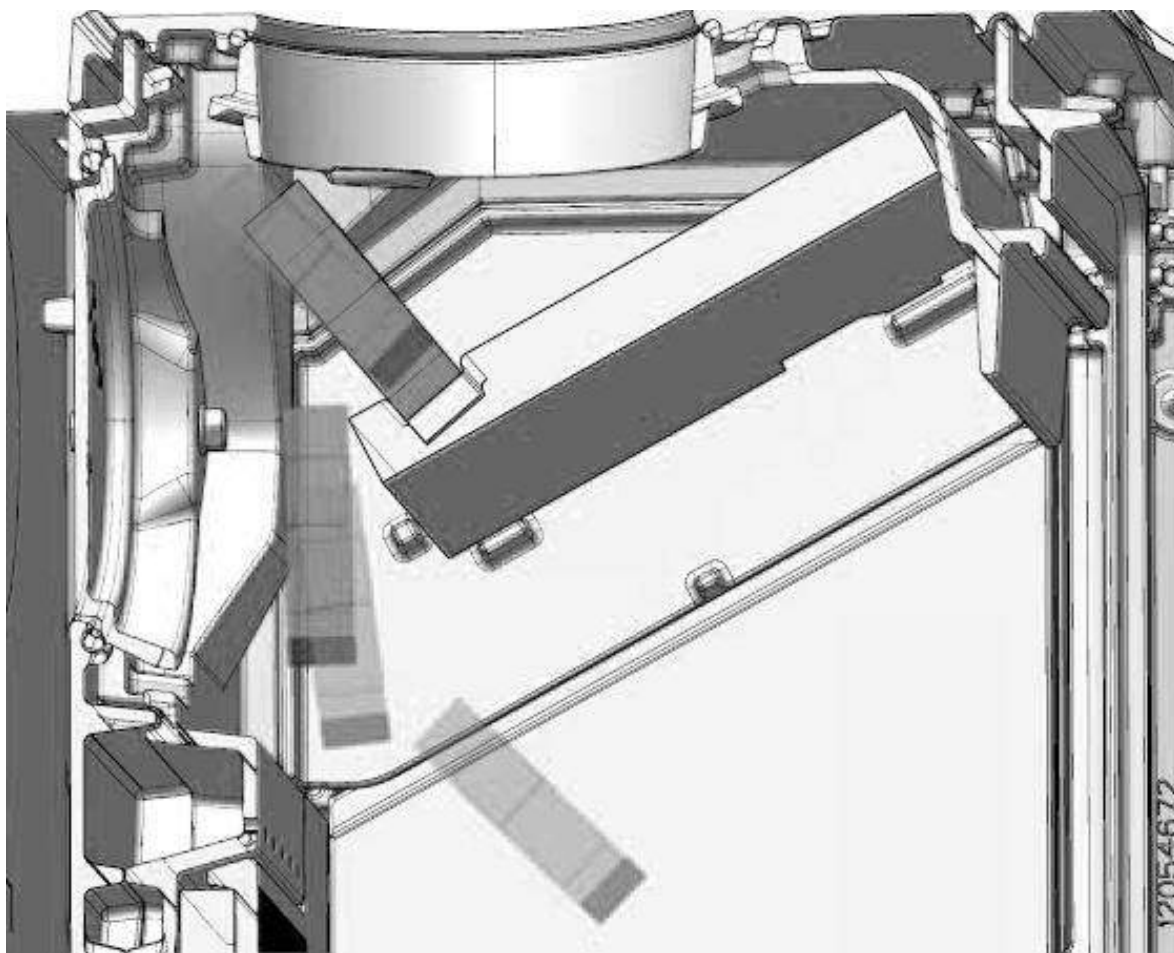


●.取り外し方

①：バッフル

1. バッフルを持ち上げ手前に引き出す。
2. 後方を③方向に引き出し、取り外す。

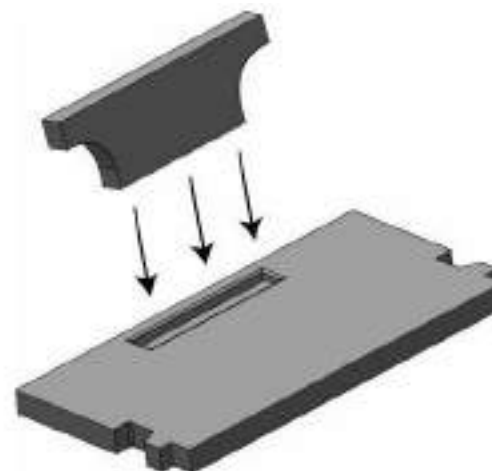
アッパーディフレクター 外し方



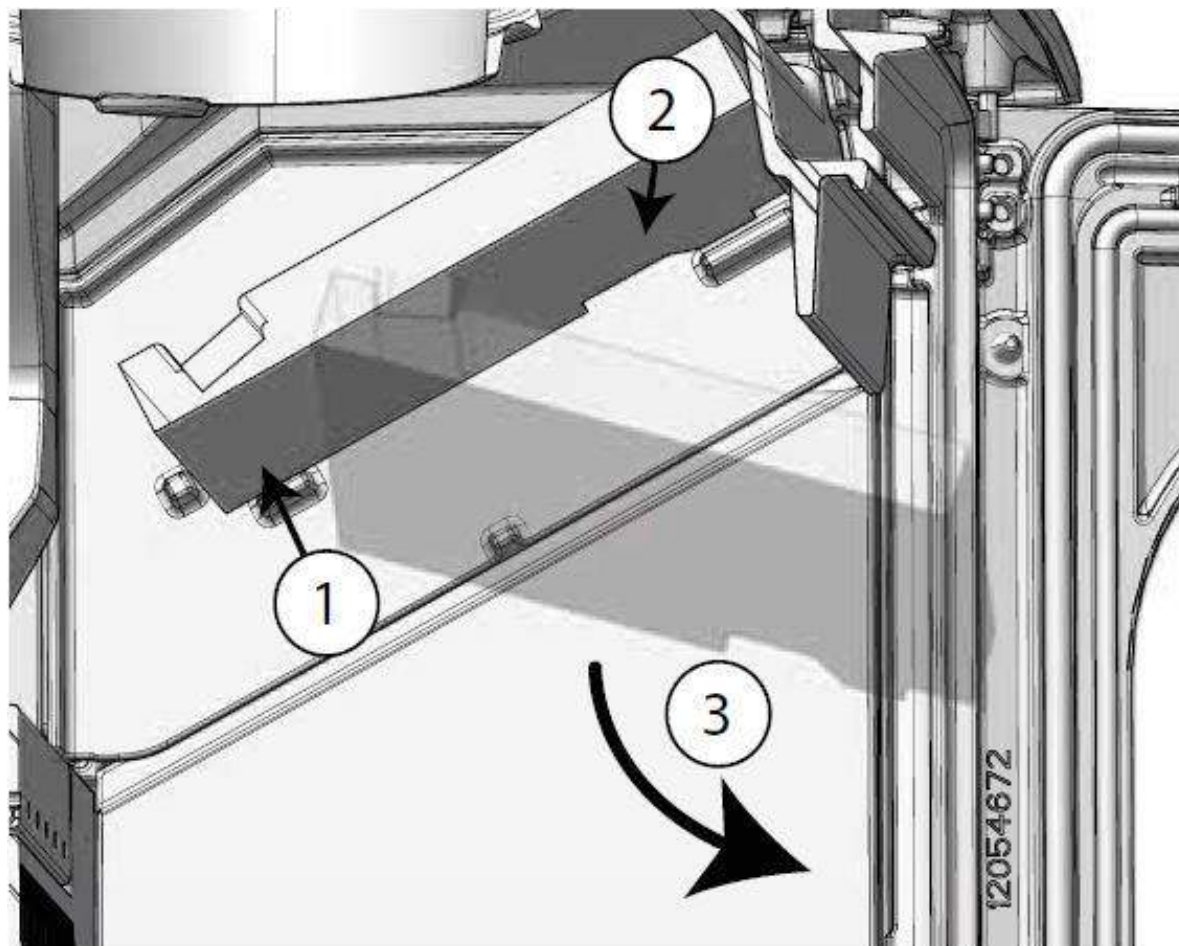
●.取り外し方

②：アッパーディフレクター

1. アッパーディフレクターを持ち上げ、取り外す。
2. 組み立ては逆の順序で行う。



ロアディフレクター 外し方



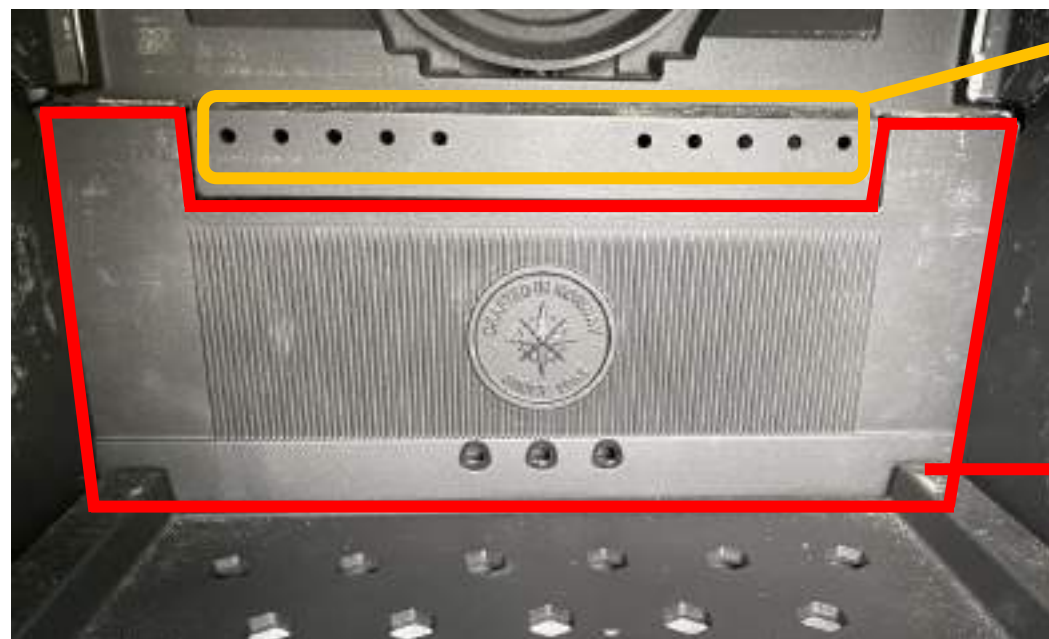
●.取り外し方

③：ロアディフレクター

1. ロアディフレクターを背面方向に持ち上げる。
2. 前面部分をフロントドアより取り出す。

バックバーンプレート

- ・ 鋳物製。部材下部には焚付用空気の吹き出し口。クリーンバーン吹き出し口はバックプレートインナーにある。裏面はインシュレーションブランケット付き。

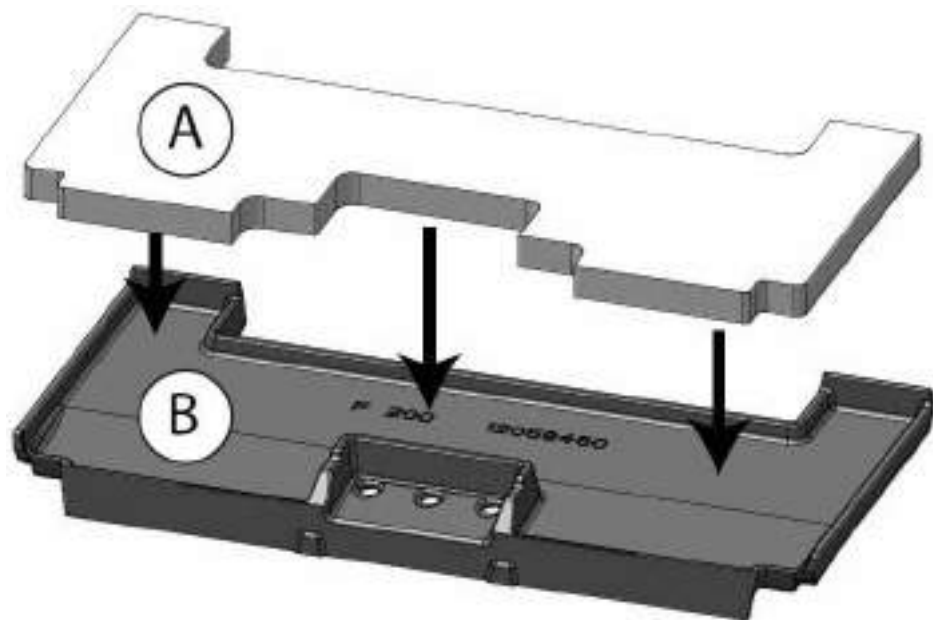


クリーンバーン吹き出し口
(バックプレートインナー)



焚付用空気吹き出し口
バーンプレート一体型、 $\phi 10\text{mm}$ 、3箇所

バックバーンプレート



A：インシュレーションブランケット
(スーパーウール)

B：バックバーンプレート

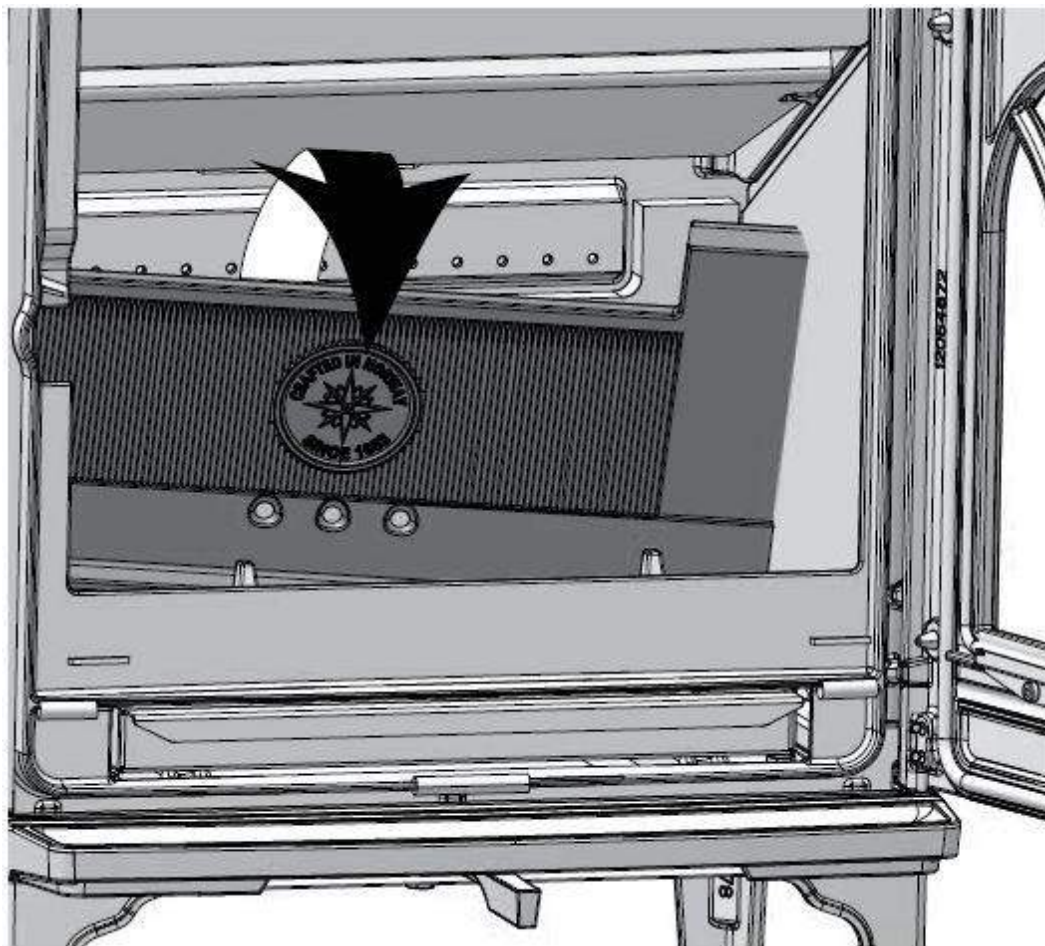


表面



裏面

バックバーンプレート 外し方

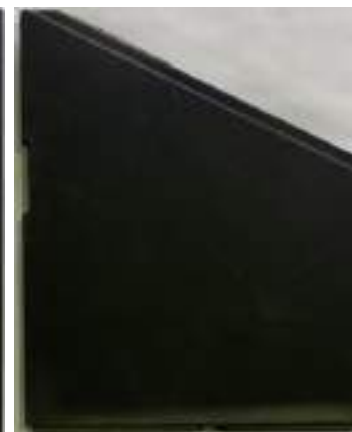


●.取り外し方

1. サイドバーンプレート及びアッシュグレートを取り外す。
2. バックバーンプレートを前方方向け取り外す。

サイドバーンプレート

- ・ 鋳物製。バックバーンプレート同様裏面はインシュレーションブランケット付き。燃焼室の蓄熱性をUP。

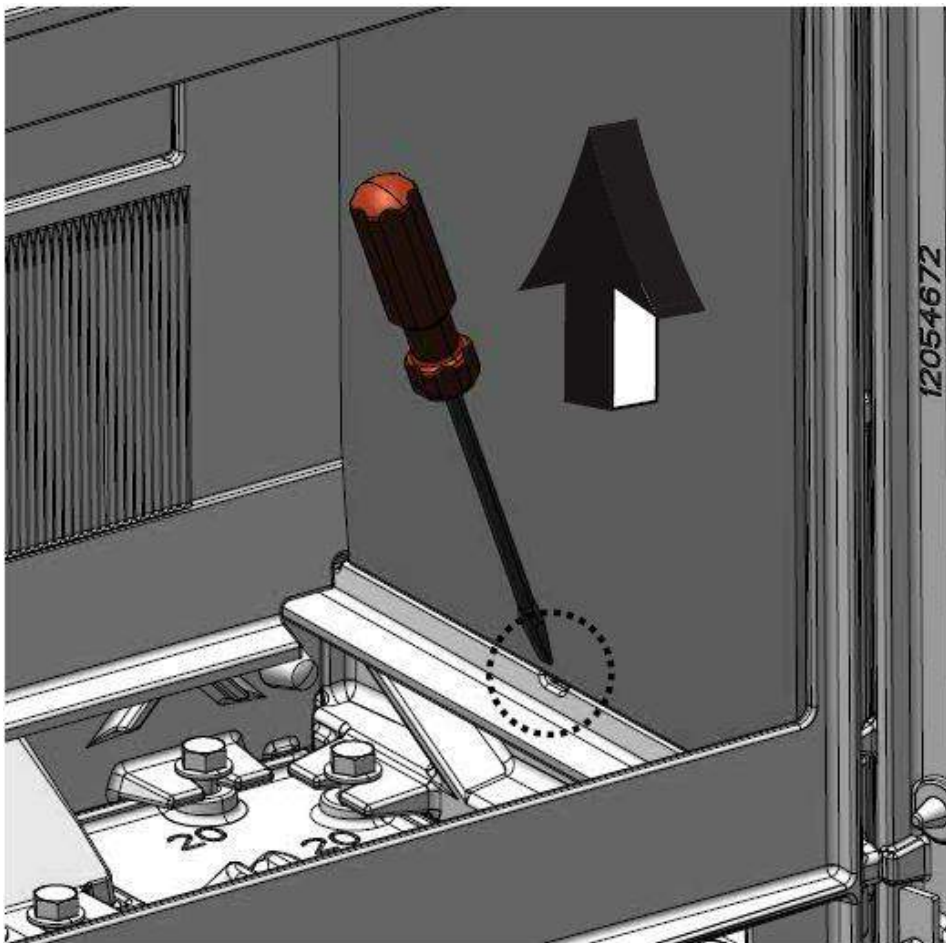


表面



裏面

サイドバースンプレート 外し方



●.取り外し方

1. アッシュグレートを取り外す。
2. サイドバースンプレート下部にある溝、ドライバー等を使用して、取り外す。

アッシュグレート

- 六角形穴の形状。左右のレール、インナーボトムリストに乗っている。
パーツリストの品名記載は「インナーボトム」

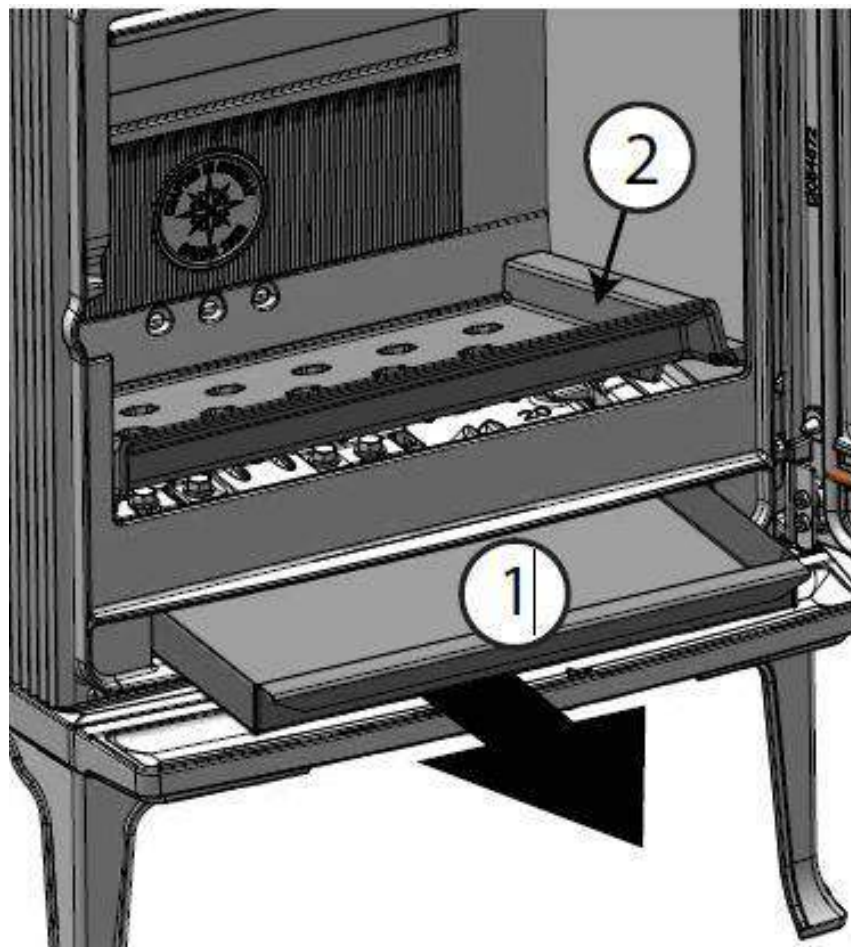


裏面：ハチの巣状に成型されており、強度UP



インナーボトムリスト(写真はライト)

アッシュグレート 取外し方



●.取り外し方

1. アッシュパンを取り出す。
2. アッシュグレートを傾けて、取り出す。

トッププレート 外しません！



●.取り外し方

※取り外しできない

※1.トッププレートはヒット剤で固定されている。

※2.トッププレートにドアヒンジ穴があり

※トッププレートを外した写真

フロントドア



●.取り外し方

ヒンジプレートはドア裏上下に2箇所。

ヒンジ穴がトッププレートとボトムプレートに。



トッププレート
ヒンジ穴

JØTUL F 200/205

- ヨツールの**ベストセラーデザイン**の継承
- 選べる**二つ**のデザイン
- **対流熱**と**輻射熱**の二つの暖かさ
- **省スペース**に設置可能
- **素早く部屋**を暖める（クイックベント機能+対流熱）
- 誰でも使用可能な**ワンレバー**
- ガラスに煤がつきにくい**熱線反射ガラス**



ヨツール内部部材 材質の比較

	断熱性	蓄熱性	強度	コスト
スーパーウール	◎	×	×	○
バーミキュライト	◎	×	×	▲
セラミックプレート	◎	×	▲	▲
耐火ブリック	×	◎	○	◎
鋳物	×	◎	◎	◎

鋳物は蓄熱性、強度、コストが有利。適材適所に材料を組み合わせ採用している



 Zensoric

自動燃焼制御システム搭載
ヨツールのスマート薪ストーブが
日本初上陸!

Jøtul F 170 Series





reddot winner 2024



JØTUL F 170 ZENSORIC
AWARD WINNING DESIGN



これまでの薪ストーブと何が違うのか？

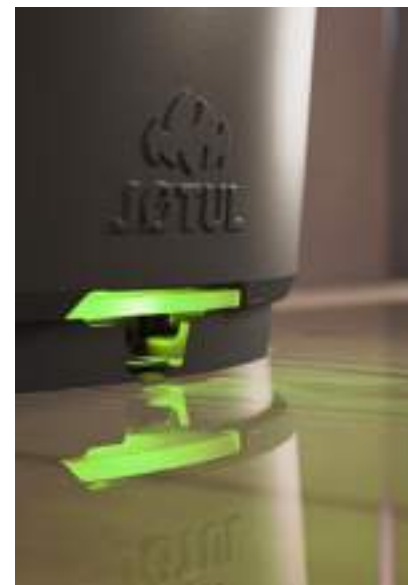
Zensoric：自動空気調整システム

バッテリー搭載のスマート薪ストーブ。最適な量の空気を最適な場所に流入させることで、最適な燃焼を自動で行う

【使用方法】

1. 薪を入れて、着火する
2. 燃焼はお任せ：最適な燃焼
3. 薪の追加のタイミングはシグナルが点灯

簡単！



Zensoricの利点

安定した熱



Zensoricは空気流量を調節し、効率的な燃焼を実現します。これにより、安定した熱と長持ちする燃焼が得られます。

微粒子排出量の削減



Zensoricは燃焼を最適化することにより、微粒子排出を大幅に削減します。

いつもクリアなガラス



エアーウォッシュシステムにより、薪ストーブのガラスを常にクリアに保ち、美しい炎をお楽しみいただけます。

Zensoric自動空気調整システムとは？

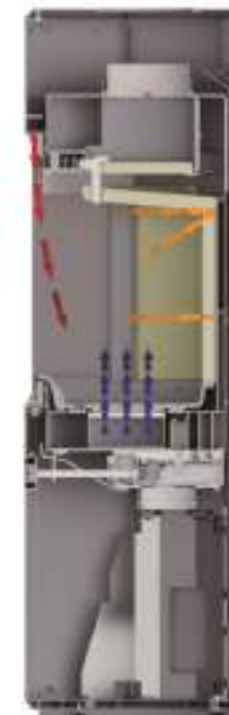
薪ストーブの燃焼効率を最適化し、簡単な使用にすることを目的に開発されました。

1. 温度センサーで燃焼状態を把握（8秒毎）→最適な空気量が最適な流入経路を通る
2. 空気は4系統

プライマリーエア（焚き付け用空気）

セカンダリーエア（エアウォッシュ用空気）

ターシャリーエア×2（クリーンバーン用空気）



**燃焼に最も影響を与えるのは、空気の総量と空気の分配。
これをコントロールするのが、Zensoricセンソリックです**



Step
1

はじめに

扉を開けて、緑色のライトが点灯しているのを確認しましょう。緑色
は、薪ストーブが使用可能な状態になっていることを示しています。



Step
2

薪を積み重ねて着火

トップダウン方式で火をつけたら扉を閉めてください。必ず乾燥した
薪を使用してください。



Step
3

あとはZensoricにお任せ

Zensoricによる空気制御が自動で行われます。薪を追加するタイミン
グになると、シグナルの点灯でお知らせします。

空気の流れ：Auto

着火

着火時には、急速に空気を供給して火起こしをサポートします。

燃焼維持

燃焼中は、着火用空気（プライマリー）、燃焼用・エアーウォッシュ用の二次燃焼用空気（セカンダリー）の量を減らし、三次燃焼用空気（ターシャリー）を増やすことで、酸素レベルを一定に保ち、過剰燃焼を防ぎます。

燃焼終了

火が消えるにつれて、着火用空気（プライマリー）の量を増やし、燃焼効率を高めることで灰の量を減らします。

Zensoric（センソリック）は、手動操作では調整が難しい、クリーンな燃焼に必要な条件を自動で制御します。常に温度レベルを監視し、酸素供給を微調整することで、最適な性能と最小限の環境負荷を実現します。

マニュアルコントロール

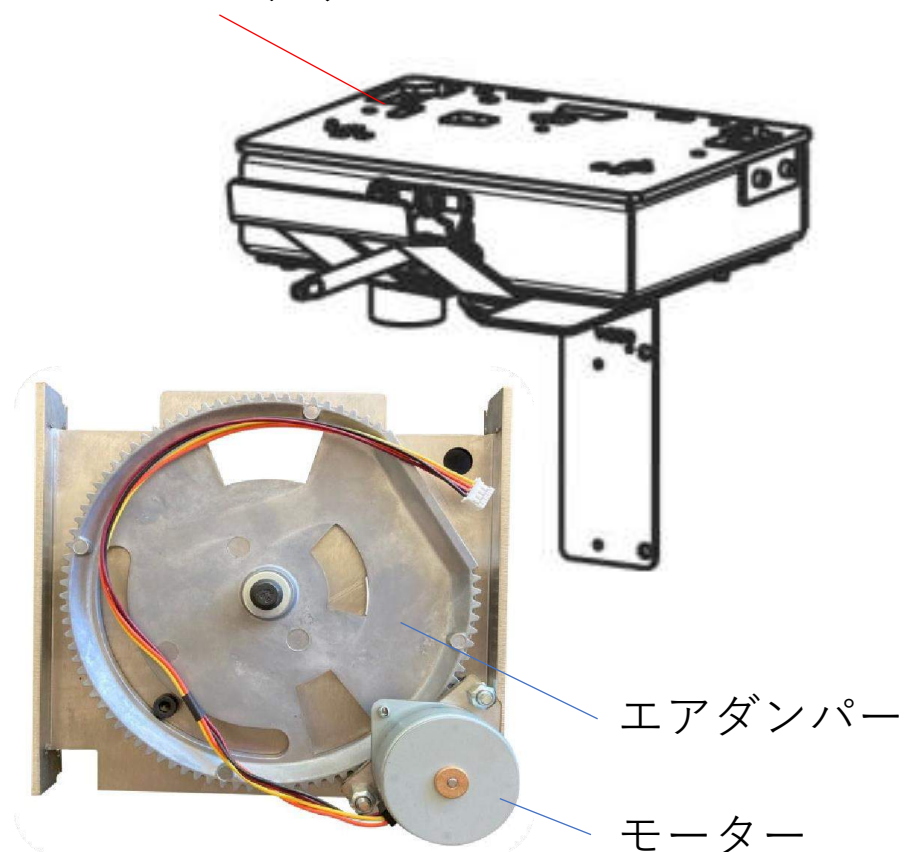
- 空気調整ノブを使用し手動で調整が可能
- 空気量を5段階に調整でき暖房や炎を自分の好みに簡単に調整できる
- セカンダリーエアのみ調整可
25～75%



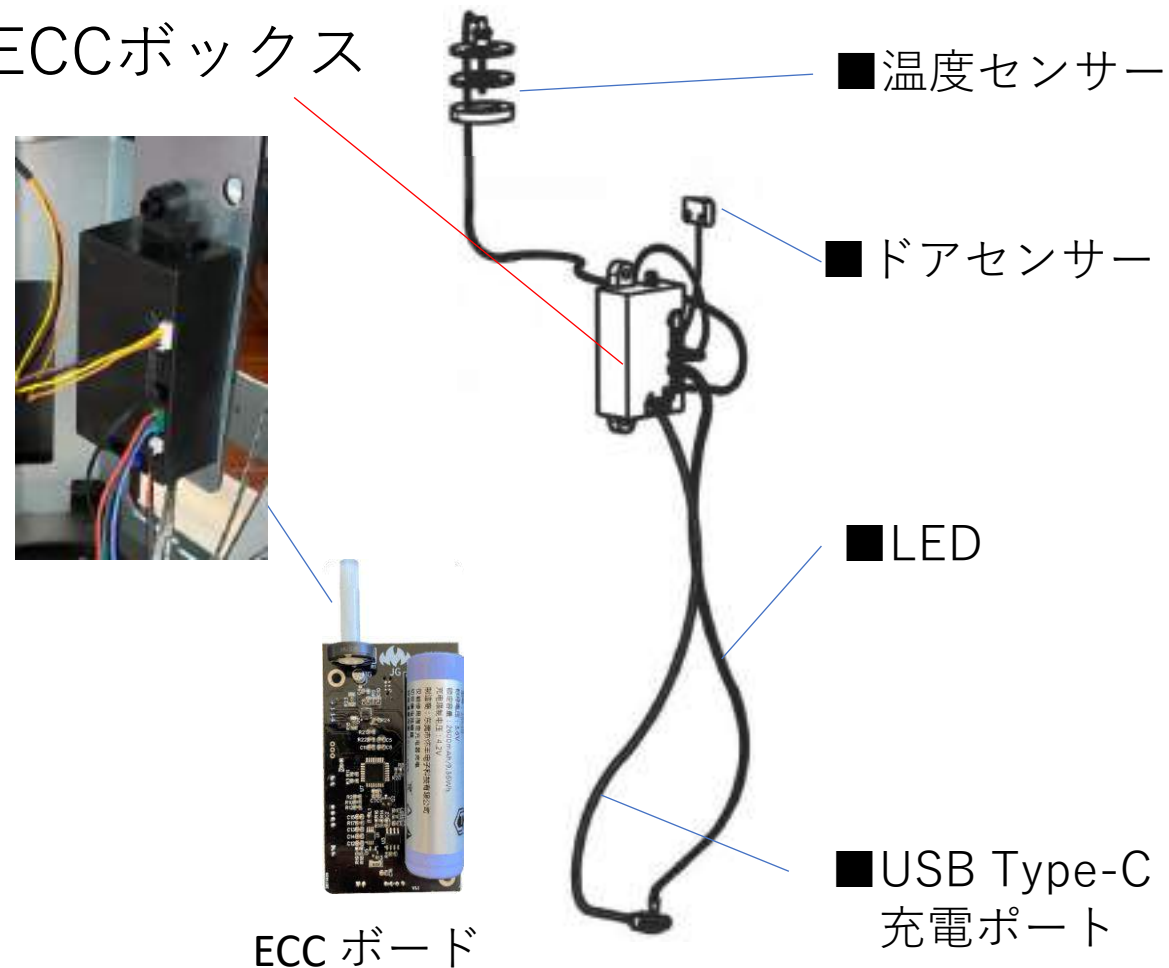
製品説明

エアボックス・伝装部品

■エアボックス



■ECCボックス





Zensoric搭載で薪ストーブはもっと簡単に、もっと快適に

簡単操作

Zensoric（センソリック）が自動で空気流量を調整するため、手動の調整は不要です。

クリアなガラス

自動空気制御システムとエアーウォッシュシステムにより、薪ストーブのガラスを常にクリアに保ちます。

微粒子排出量削減

Zensoric（センソリック）は最適な燃焼を促し、有害な排出ガスを削減します。

長時間燃焼

薪の継ぎ足しの間隔が長くなります。

安定した熱

Zensoric（センソリック）は安定した一定の熱出力を維持します。

灰の減少

効率的な燃焼により、灰の量が少なくなります。

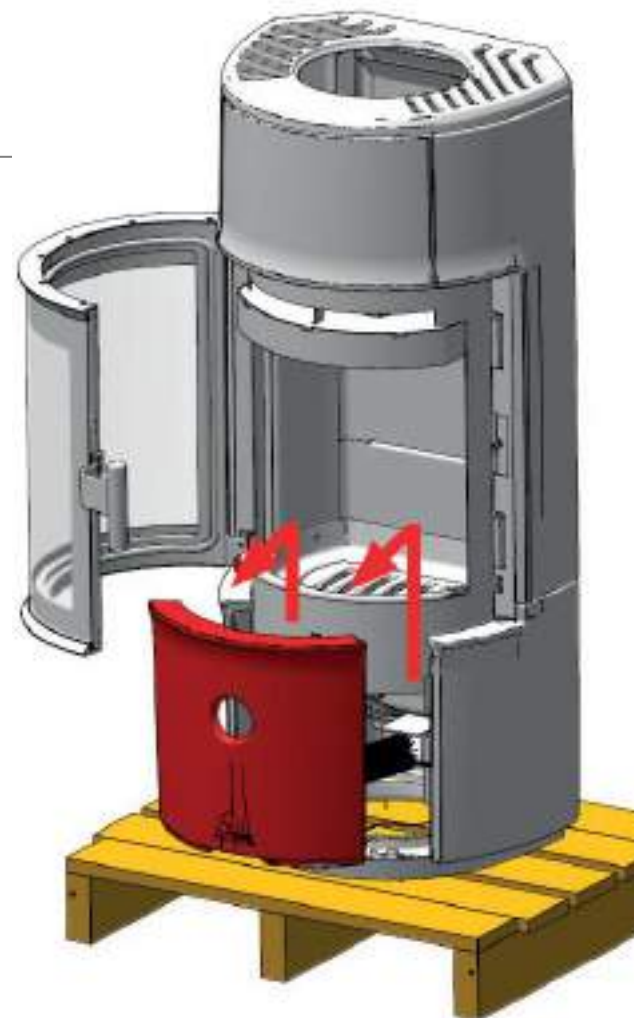
設置前



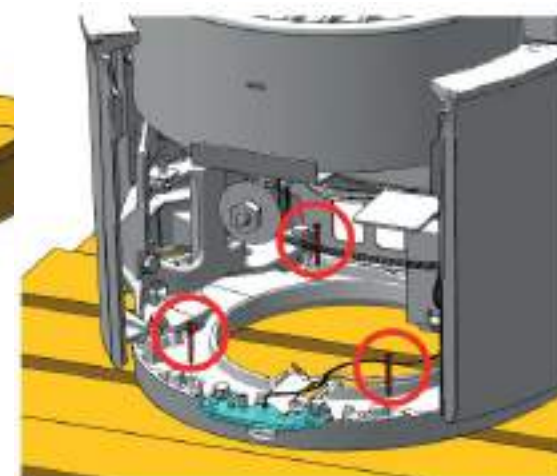
↑ ドアを開けたままにするために、ノブをドアの根元に置く



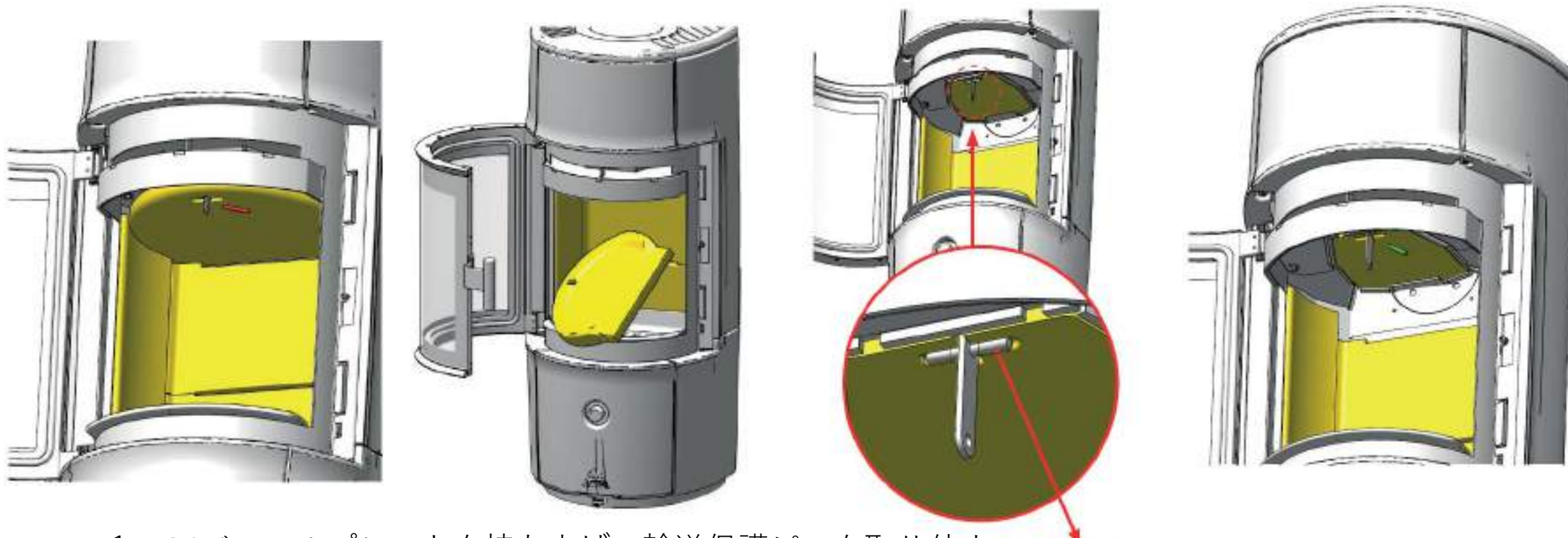
↓ プレートを外す



↓ 固定ビスを外す



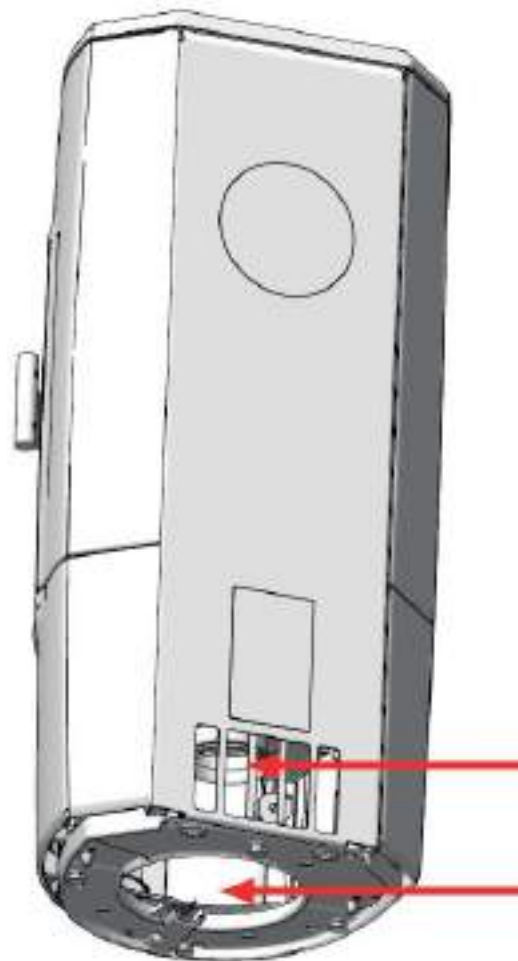
輸送保護の解除



1. ロアバッフルプレートを持ち上げ、輸送保護ピンを取り外す
2. プレートを90° 回転させて取り外す
3. アッパーバッフルプレートを持ち上げ、輸送保護ピンを取り外す
4. アッパーバッフルプレートに付属のピンで取付、ロアバッフルプレートを再度取り付ける

設置の注意点：外気導入

- 外気導入：
φ100mm、最長6M、
曲がりは1か所まで
(結露防止のため
バルブがベスト)



壁面への接続

床への接続



壁面へ接続する場合、カバープレー
トの2か所を切って
ください

設定：薪の種類

■ 薪の種類

STEP1 針葉樹（モミ、松、ポプラ、柳等）

STEP2 ミックス（カバ、カエデ等）

STEP3 広葉樹（ブナ、トネリコ、オーク等）

※初期はSTEP2に設定

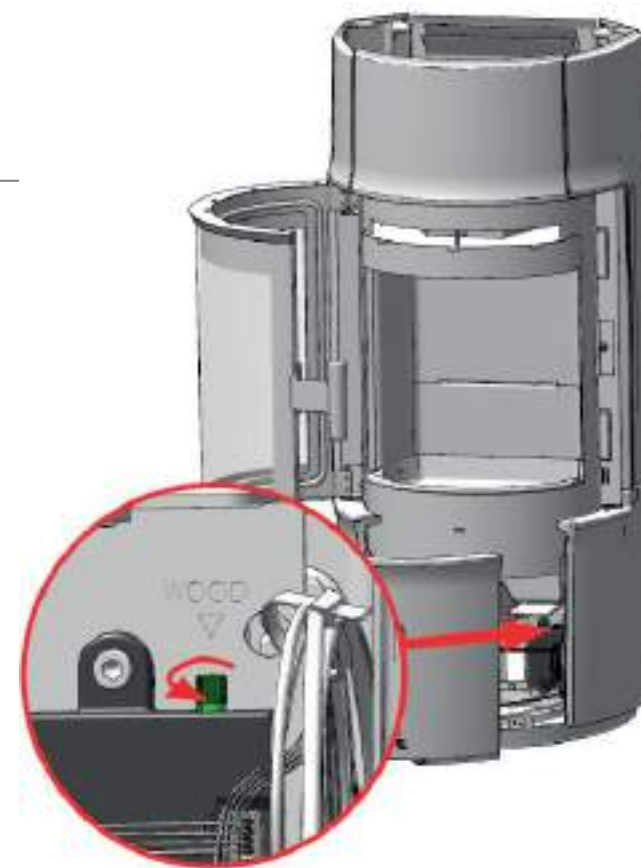
■ 設定変更

空気調整ボタンにて調整

STEP1 反時計回りに回転 ライト：1回白点滅

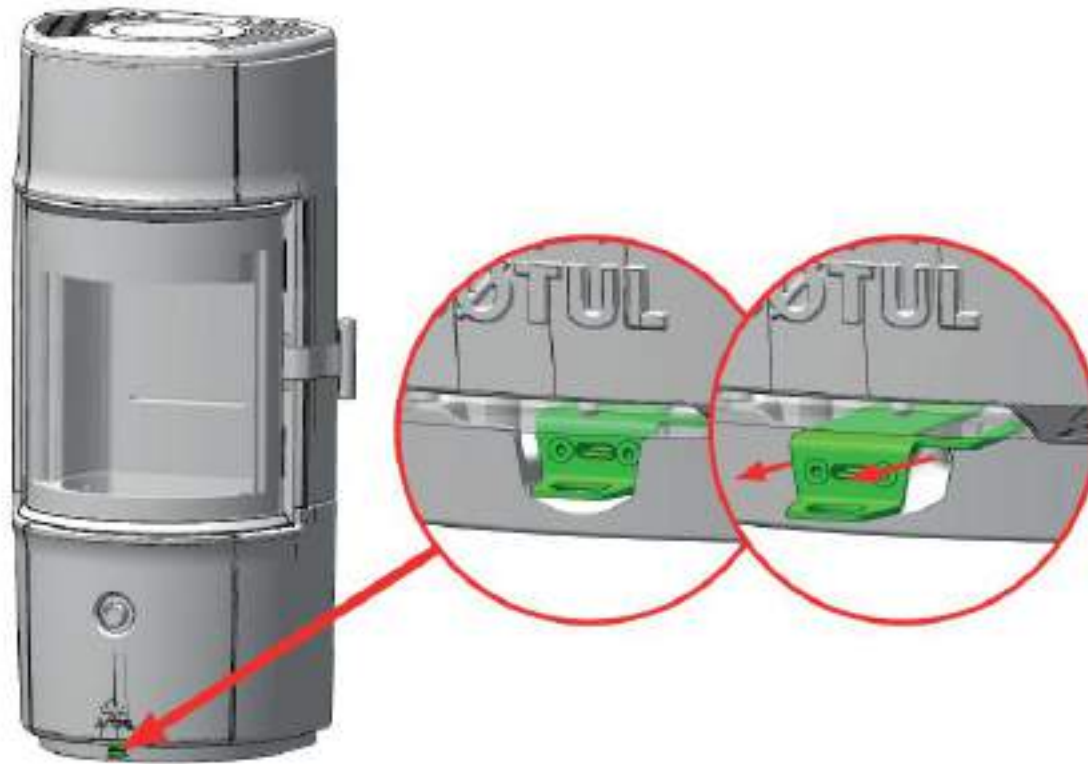
STEP2 センターにセット ライト：2回白点滅

STEP3 時計周りに回転 ライト：3回白点滅



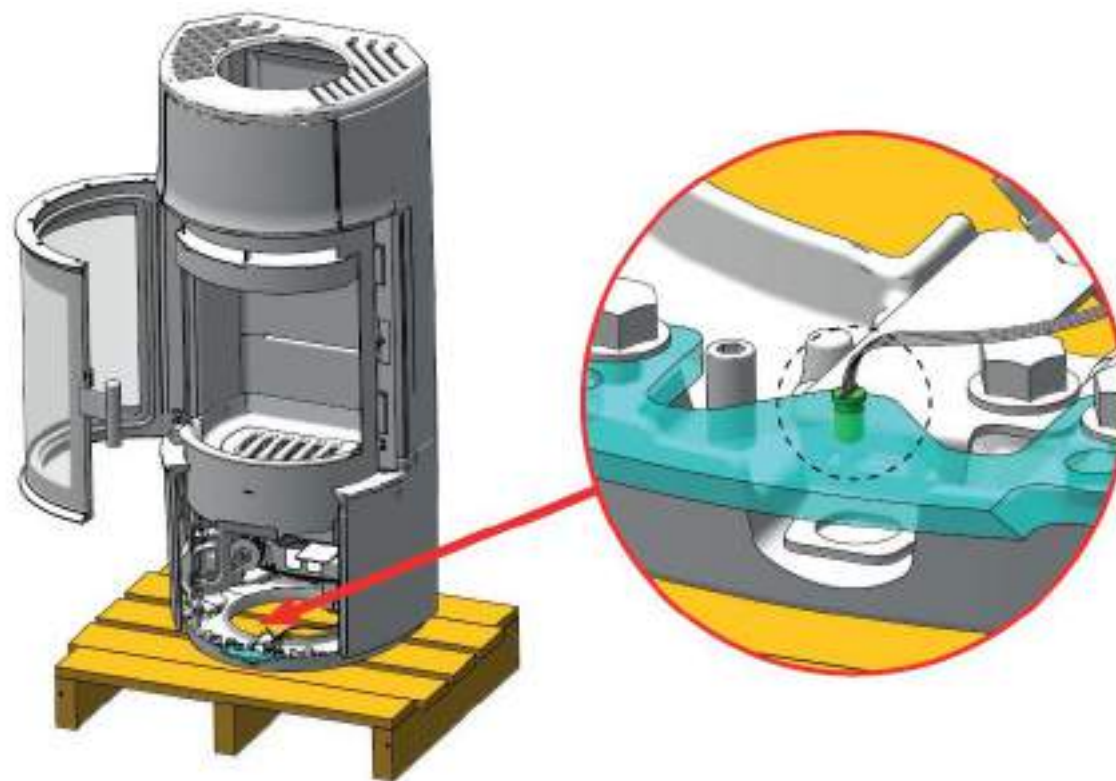
バッテリー充電

- 使用前に付属のUSB-C充電プラグを差し込み、5V電源を接続して充電



設置前の確認 1

- ダイオードが所定の位置にあることを確認

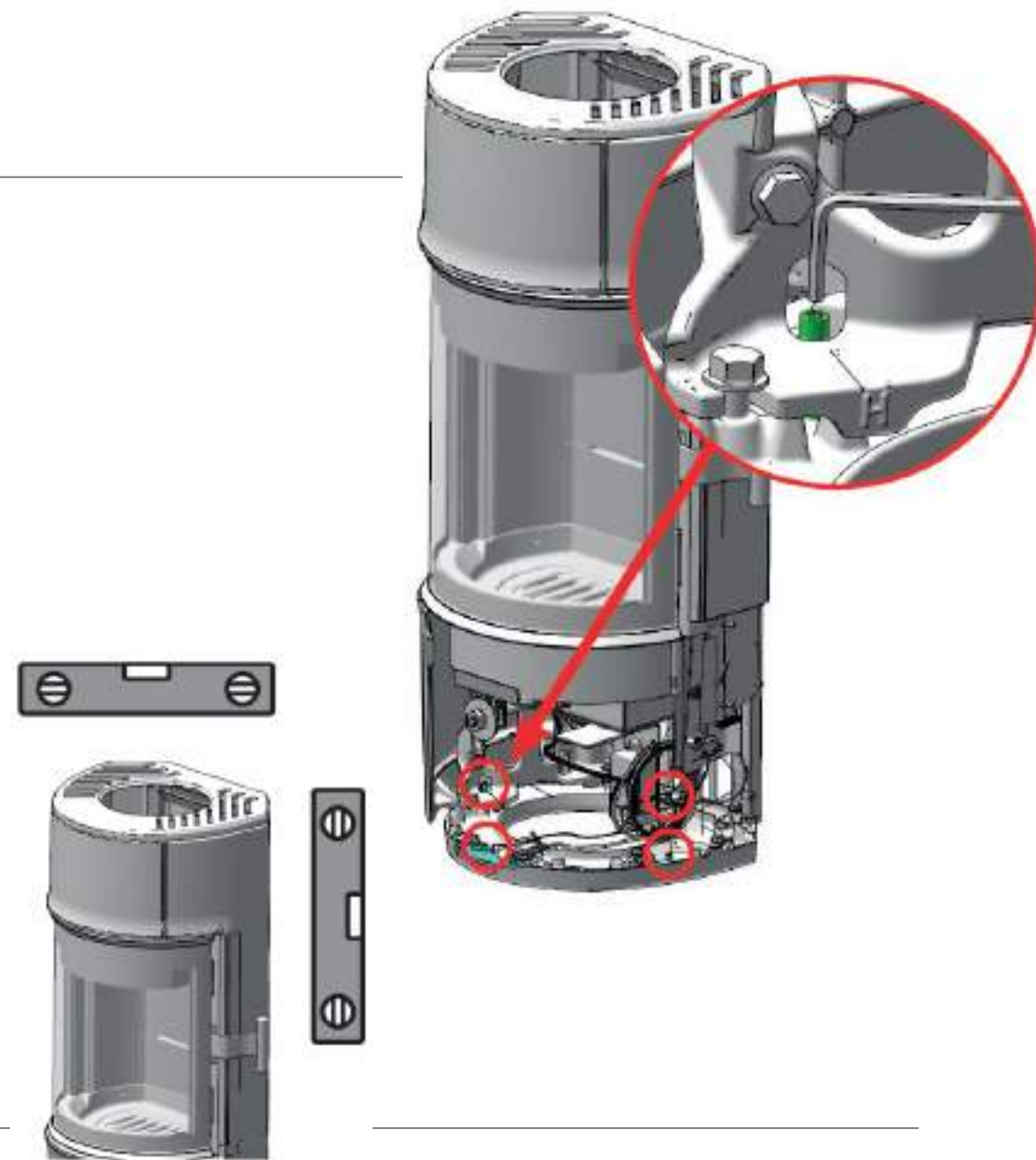


設置前の確認 2

- ストーブ下部に4本の調整ねじで水平に調整可能

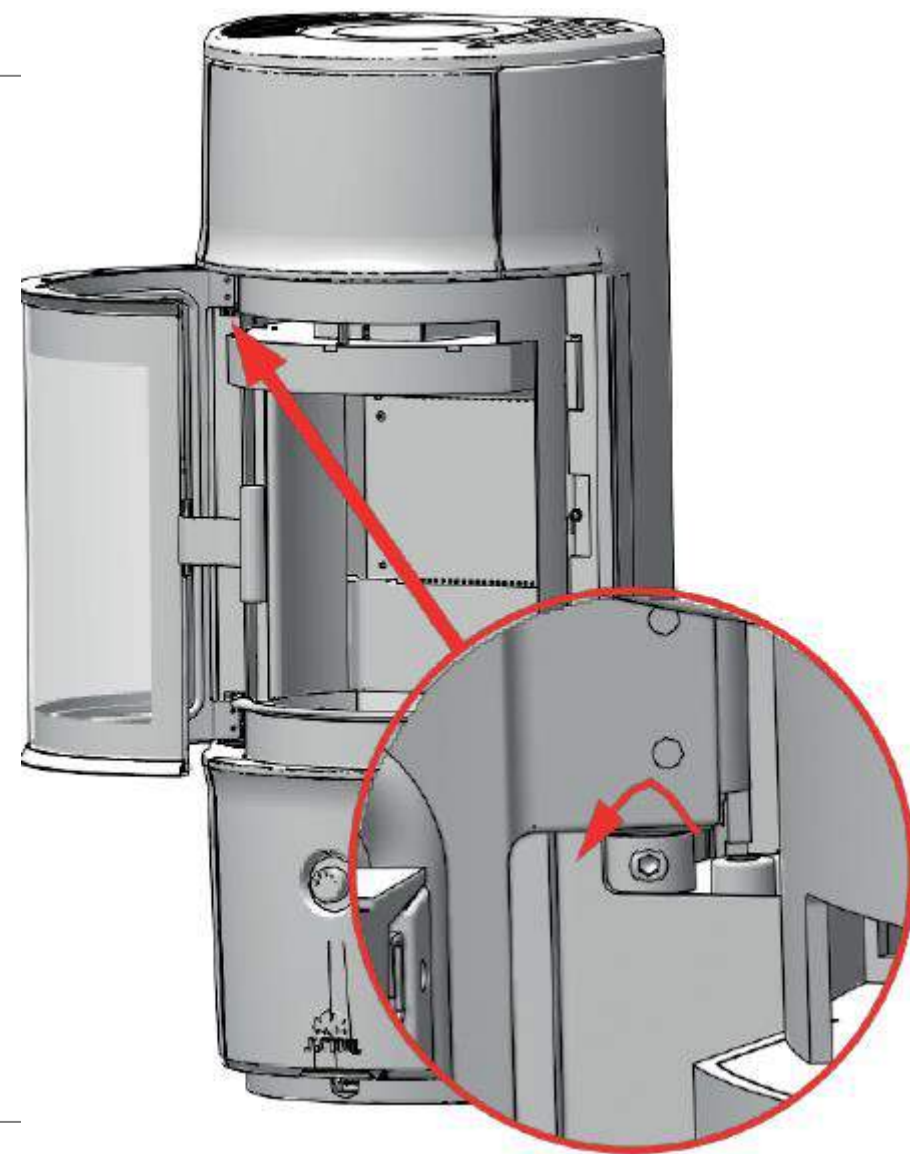
注意：ストーブを水平にすることは、センサーリックを最適に機能させるために非常に重要です。

一度ストーブを取り付けると調整することができないため、必ず確認すること



設置前の確認 3

- セルフクロージング
しない場合は六角レンチ (2.5mm)
半時計で緩める



ドアの確認

- センソリックの機能のためにもドアが閉まることが非常に重要。また、ガラスに煤がつかないようにストーブにしっかりと密着させてください。
- ガasketがなじむために、ストーブは2～3回燃焼しなければならない。そのため、ドアのハンドルを押して、横のねじに当たっているか確認してください



ヒートストレージ

- Jøtul F 171/F174 2ピース 21kg
- Jøtul F 176 5ピース 52.5kg



使用方法

トップダウンで着火

上から下に火をつけることで環境によい燃焼となります。炎が下へ下へと降り、燃焼室がより早く加熱されます。煙突のドラフトも強くなり、炎に酸素がいきわたり、高温になります。

●着火のため用意するもの

- 薪長約20-23cm 1本約0.3～0.5gの丸太4本
- 薪長約20cm 0.3～0.5gの焚き付け用薪
- 着火材2-3個



使用方法

1.薪を燃焼室に積む

2.着火材に火をつける

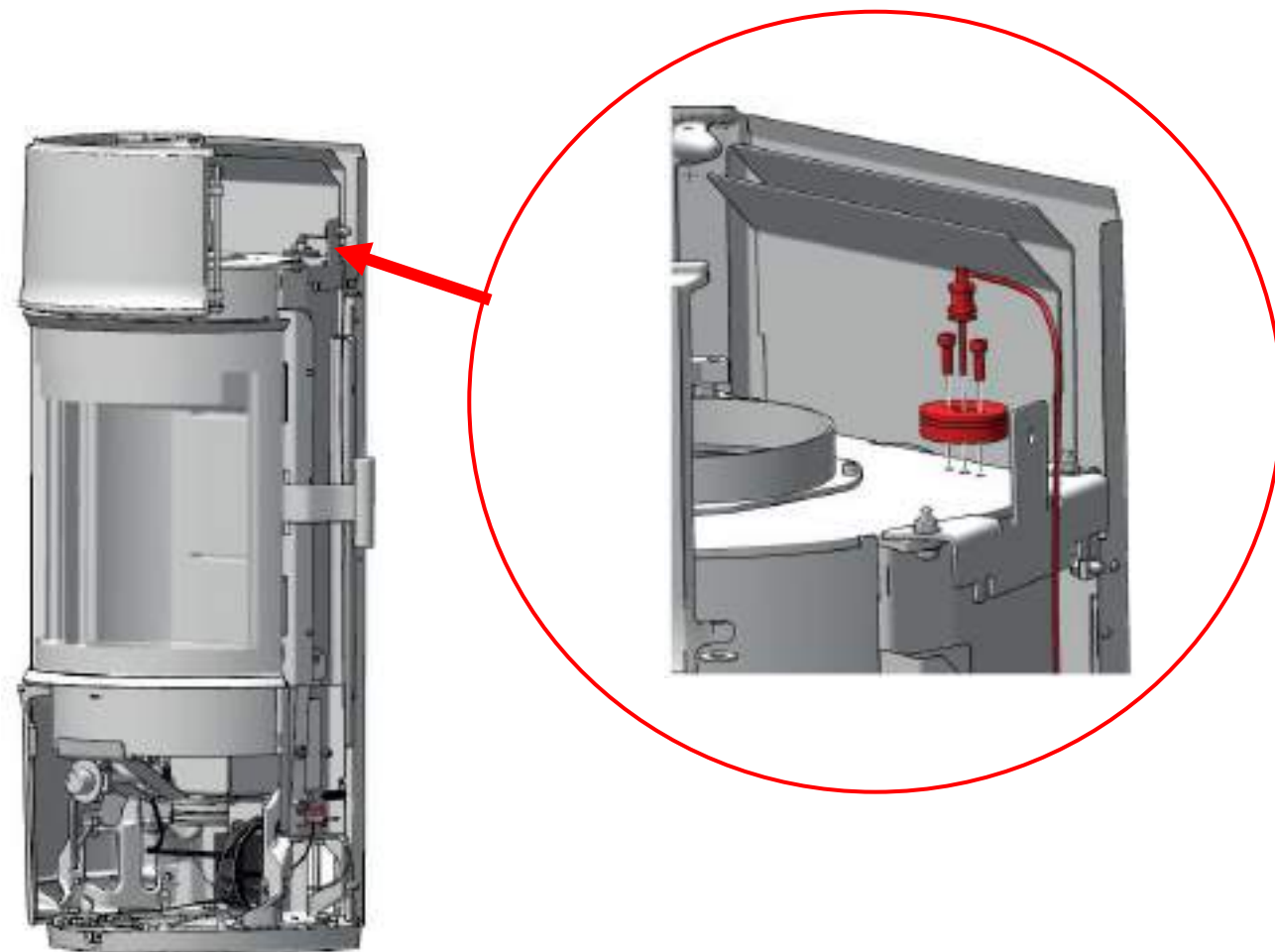
※ターシャリーホール（下部）を覆うほど薪を入れない。（着火時はこの限りではない）

※薪は一度に多くの薪を入れず、一度に入れる薪は少量にし、こまめに焚く。くすぶっている火は最も微粒子を発生するので避けること



製品説明 温度センサー

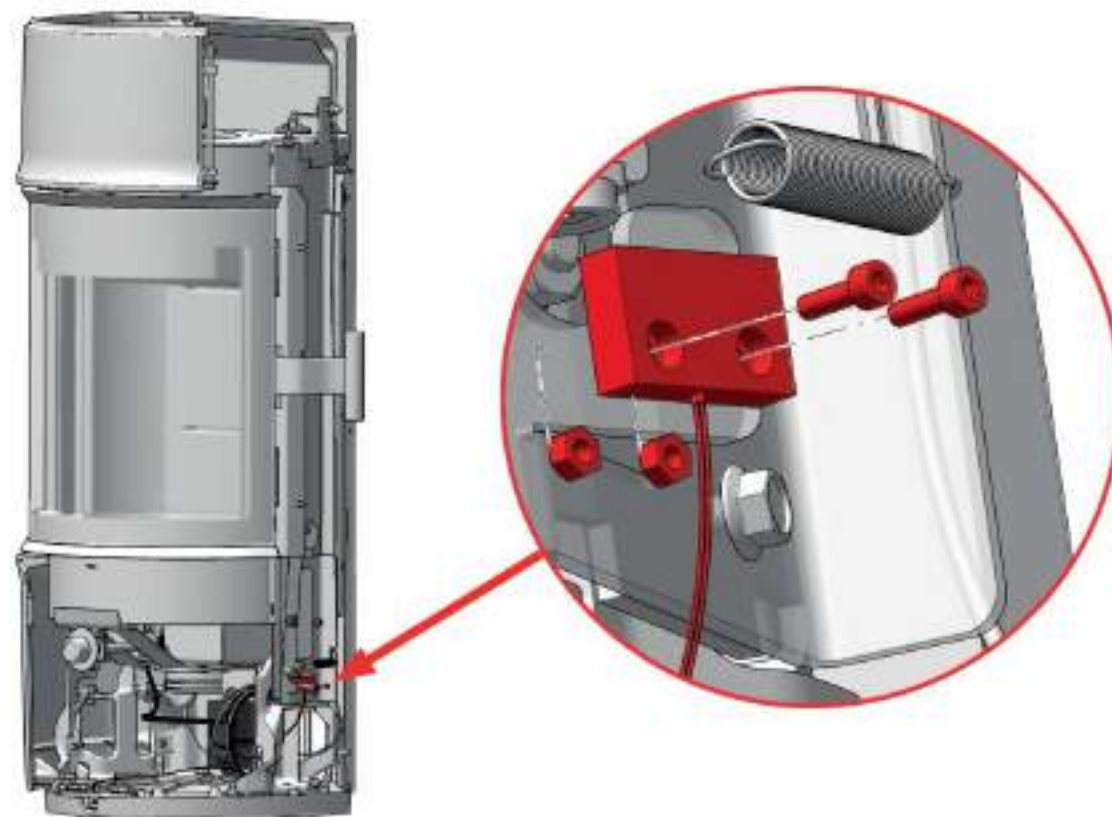
- バッフル上部に位置
- トッププレートを外し
外側から着脱可能



製品説明 ドアセンサー

- 扉が正しく閉まっているか感知

※扉が閉まっている状態で
センサーリックが稼働

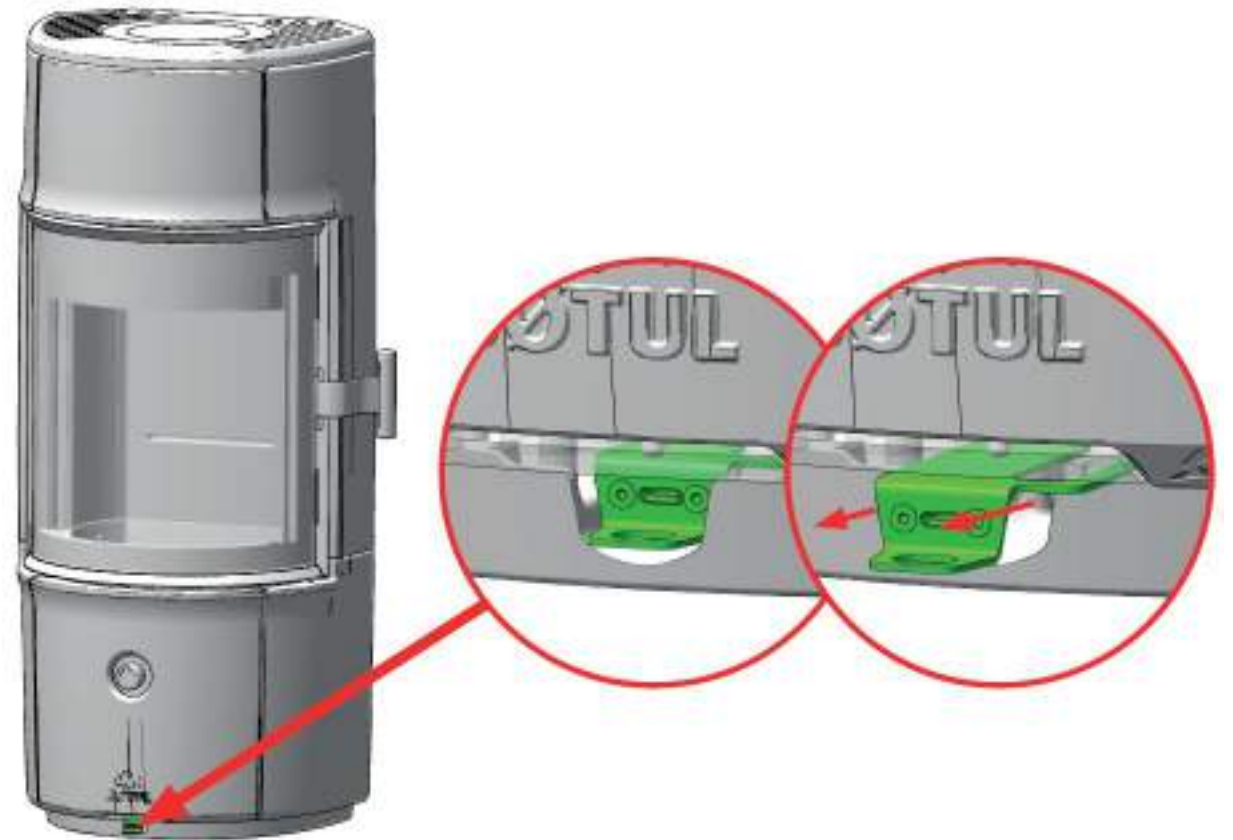


製品説明

USB Type-C 充電ポート

- 出荷時充電済
- 5V電源にて充電
- 2～3時間の充電で500時間稼働

※ シーズン中に再充電
をお勧めします



シグナルガイド

● 緑 1回点滅 → エアダンパー、ドアセンサーOK

● 緑 1回点滅 (8秒毎) → 薪を投入してください

● 青 2回点滅 (8秒毎) → 充電をしてください

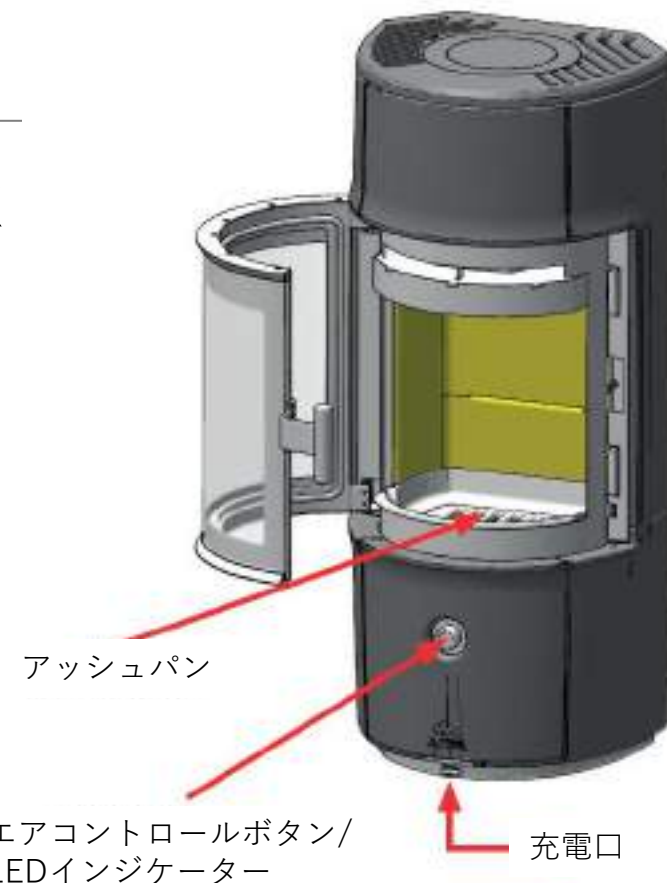
● 赤 1回点滅 → エアダンパー故障

● 赤 2回点滅 → バッテリー少。センソリック電源OFF

● 赤 3回点滅 → 温度センサー故障

※ 充電時に赤点灯 → フル充電で消灯

※ 使用スタート時に扉を開きLEDが点滅しない → ドアセンサー故障



使用上の注意

- クリーンバーン：クリーンバーンは燃焼中に放出されるガスを最適に燃焼させるためのシステムで、暖められた空気が燃焼室内に流入して燃焼。空気の流れは燃焼速度によって制御されるため、調整することはできない

クリーンバーン用空気の穴より上に薪を置かないように

- アッシュパン：最適な燃焼を実現するため、3/4程度になったら灰を取り除く



 Zensoric

スマートストーブがよいよ登場
未来の薪ストーブの機能、
Zensoric でもっと手軽に、
もっと快適に

ヨツールキャンペーン 2024

- F500/F400 25周年キャンペーン
- F200/F205 ヨツール171周年突入キャンペーン
- 新システム センソリック搭載 スマートストーブキャンペーン





**Jøtul F 400 &
Jøtul F 500**

**25th
Anniversary**

**おかげさまで発売25周年
ヨツール F 500/400 感謝キャンペーン**

おかげさまで発売25周年

ヨツール F 500/400 感謝キャンペーン

1999年発売のヨツール F 500、そして2000年発売のヨツール F 400。
時を経ても色褪せることのない、ヨツールの代表的な2つのモデルが25周年を迎えました。

薪ストーブのデザインがめまぐるしく変わる中、その存在感は揺るぎなく、
最新の燃焼技術と、飽きのこない北欧デザインが
見事に融合融合した「薪ストーブの傑作」です。

25周年を記念して、特別なキャンペーンも実施中！

この機会に、あなたもヨツールの世界へ。

本物の薪ストーブのぬくもりと、
「オーロラの炎」が踊る「豊かな時間」をぜひ感じてください。



Jotul F 500

2024年に販売25周年
累計販売台数
11,000台を突破



Jotul F 400

2025年に販売25周年
累計販売台数
10,000台を突破



キャンペーン詳細

ヨツール F 500 / F 400と弊社オリジナル煙突 ヨツールパイプシステム(JPS)を
一緒にご購入いただくと、本体価格がなんと約10%オフ！
JPSは1000Lまたは1200Lを4本以上ご利用ください。

本体価格
**10%
OFF**

Jotul F 500



Jotul F 400



または

+

ヨツールパイプシステム (JPS)

1000Lまたは1200Lを4本以上



2024年12月末出荷分までご対応



対象商品のキャンペーン価格一覧

コード	品名	定価(税込)	10%OFF価格(税込)
JAF358691	ヨツール F 500 ECO BP	660,000	▶▶ 594,000
JAF358692	ECO SE BP	660,000	▶▶ 594,000
JAF359670	ECO SE BBE	750,000	▶▶ 675,000
JAF359672	ECO SE IVE	820,000	▶▶ 738,000
JAF358789	ヨツール F 400 ECO BP	590,000	▶▶ 531,000
JAF358790	ECO SE BP	590,000	▶▶ 531,000
JAF358791	ECO SE BBE	670,000	▶▶ 603,000
JAF358792	ECO SE IVE	730,000	▶▶ 657,000



F500/F400 25周年キャンペーン

[MEC.キャンペーン申込画面]

[illegible]

[キャンペーン申込用紙]

JOTUL F 500/ F400 25周年キャンペーン申込書

2024年10月15日 F 500/F 400 発売25周年キャンペーン適用のための申込書です。
 ・キャンペーン本体にご登録時に本欄でお申し込みください。(本文書は別途必要です。)
 ・申込書確認完了後次第、本体キャンペーン特報とさせていただきます。
 ・MECで申請された方はこちら不要です
 ・キャンペーン期間：2024年12月末日迄有効で適用

貴社名：

年月日：

1	物件名	棟号	マイク記入欄
	機種/カラー		
	煙突	☐ 同時注文 ☐ 注文済み ☐ 後日注文予定	
	ご注文時期※	棟号	

※煙突のご注文が「注文済み」もしくは「後日注文予定」の場合、ご注文の時期をご記入ください。

2	物件名	棟号	マイク記入欄
	機種/カラー		
	煙突	☐ 同時注文 ☐ 注文済み ☐ 後日注文予定	
	ご注文時期※	棟号	

※欄外のご注文が「注文済み」もしくは「後日注文予定」の場合、ご注文の時期をご記入ください。



Jøtul F 200



Jøtul F 205

「ちょうどいい」を叶える薪ストーブ

1853年創業、171年の歴史を超えてなお進化を続ける
ヨツールが贈る特別なキャンペーン

ヨツール F 200 / 205 キャンペーン開催

1853年創業、171年の歴史を超えてなお進化を続ける
ヨツールが贈る特別なキャンペーン

ヨツール F 200 / 205 キャンペーン開催

「ヨツールの新しい定番」と呼ばれるF200/F205は、
伝統と革新が融合した薪ストーブ。
輻射熱と対流熱の二つの暖かさで、お部屋全体をムラなく温めます。

薪が燃えるパチパチという音、揺らめく炎。
五感を満たす暖かさは、忙しい毎日を送るあなたに安らぎを与えてくれます。
この冬は、本物の暖かさを! F200/205で、特別な冬を過ごしませんか?





キャンペーン詳細

ヨツール F 200 / 205の価格が

定価490,000円(税別)→**450,000円**(税別)

2024年12月末出荷分までご対応



Zensoric

自動燃焼制御システム搭載
ヨツールのスマート薪ストーブが
日本初上陸!

Jøtul F 170 Series



センソリック搭載、スマート薪ストーブ発売キャンペーン

ヨツールが贈る、薪ストーブの未来。創業170周年を記念し、世界的に有名なreddot賞を受賞した自動燃焼スマート薪ストーブが日本に初上陸! バッテリー搭載の独自の自動空気調整システムが、燃焼に必要な空気を最適に供給。薪の追加タイミングもランプでお知らせし、いつでも快適な暖かさを自動でキープ。暖炉のある暮らしを、もっとスマートに、もっと便利に。この機会に、未来の薪ストーブを特別価格でお求めください。



Jøtul F 171

Jøtul F 174

Jøtul F 176



キャンペーン詳細

期間限定で下記の価格で販売いたします。

ヨツール F 171 定価1,140,000円(税別)→定価**1,000,000**円(税別)

ヨツール F 174 定価1,180,000円(税別)→定価**1,050,000**円(税別)

ヨツール F 176 定価1,240,000円(税別)→定価**1,100,000**円(税別)

期間

2024年12月末出荷分までご対応

※キャンペーン予定数量を達し次第、終了させていただきます。